

平成 27 年国勢調査 人口等基本集計結果

人口、配偶関係、外国人人口、世帯の状況、住居の状況

政策企画課

2017/02/28

目次

第1 尾道市の人口

1 人口の推移	1
2 県内順位	1
3 旧市町の人口	3
4 年齢(3区分)別人口	5
5 旧市町の年齢(3区分)別人口	7

第2 尾道市の配偶関係

1 配偶関係	10
2 未婚者率の推移	11

第3 尾道市の外国人人口

	12
--	----

第4 尾道市の世帯の状況

1 世帯数の推移	13
2 県内順位	14
3 旧市町の世帯数	15
4 世帯の家族類型	17
5 65歳以上世帯人員のいる世帯の状況	19
6 ひとり親世帯の状況	21

第5 尾道市の住居の状況

1 住宅の建て方	22
2 住宅所有の関係	23

利用上の注意

- 1 総数には不詳が含まれており、内訳の計と一致しない場合がある。
- 2 割合は、特に注記のない限り、分母となる総数から不詳を除いて算出している。
- 3 本文及び図表中の数値は、表章単位未満で四捨五入しており、合計が100%にならない場合がある。
- 4 表中の「0.0」は単位未満の数を示している。
- 5 表中の「-」は、該当値なしを示している。

第1 尾道市の人口

1 人口の推移

尾道市の人口は 138,626 人、前回調査(H22 年)より 6,576 人(4.5%)の減少

平成 27 年国勢調査による平成 27 年 10 月 1 日現在の尾道市の人口は、138,626 人で、平成 22 年調査人口(145,202 人)と比べると、6,576 人(4.5%)の減少となりました。

昭和 50 年(185,503 人)のピーク時から 8 回連続での減少となり、ピーク時より 46,877 人(25.3%)の減少となりました。減少率は、過去最大であった平成 2 年(6.0%)の次に高くなっています。(図 1-1、表 1-1)

また、人口密度は 1 平方キロメートル当たり 486.3 人で、前回と比べると 23.4 人/km²の減少となっています。(表 1-1)

図1-1 人口及び人口増減率の推移 - 尾道市(大正9年～平成27年)

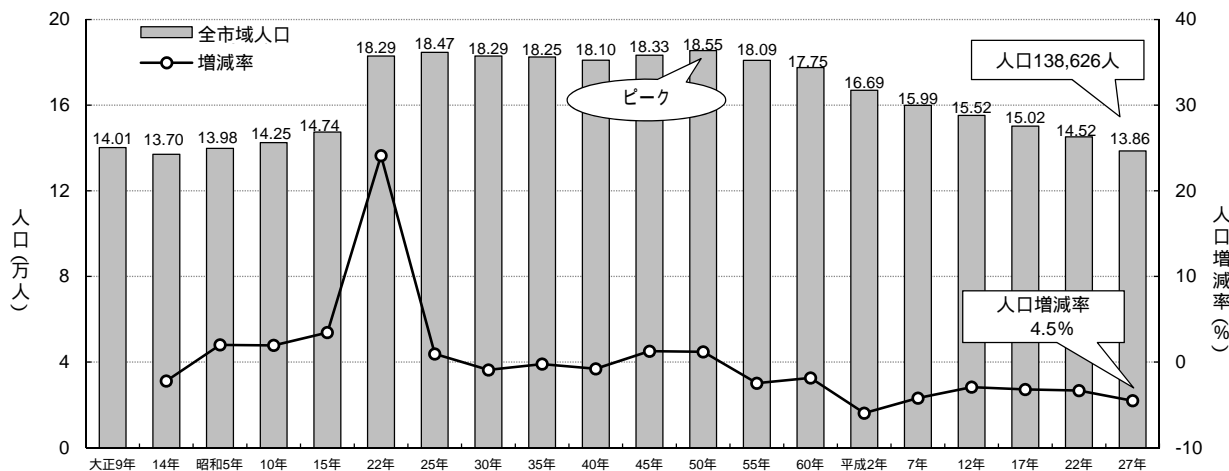


表 1-1 人口の推移 - 尾道市(大正9年～平成27年)

年次	人口 (人)	増減数 (人)	増減率 (%)	人口指数 (大正9年=100)	人口密度 (人/km ²)	増減数 (人/km ²)
大正9年	140,140	-	-	100.0	-	-
14	137,038	3,102	2.2	97.8	-	-
昭和5年	139,782	2,744	2.0	99.7	-	-
10	142,500	2,718	1.9	101.7	-	-
15	147,397	4,897	3.4	105.2	-	-
22	182,930	35,533	24.1	130.5	-	-
25	184,653	1,723	0.9	131.8	-	-
30	182,947	1,706	0.9	130.5	-	-
35	182,497	450	0.2	130.2	-	-
40	181,038	1,459	0.8	129.2	-	-
45	183,325	2,287	1.3	130.8	-	-
50	185,503	2,178	1.2	132.4	-	-
55	180,901	4,602	2.5	129.1	-	-
60	177,532	3,369	1.9	126.7	-	-
平成2年	166,930	10,602	6.0	119.1	-	-
7	159,890	7,040	4.2	114.1	-	-
12	155,200	4,690	2.9	110.7	-	-
17	150,225	4,975	3.2	107.2	-	-
22	145,202	5,023	3.3	103.6	509.7	-
27	138,626	6,576	4.5	98.9	486.3	23.4

2 県内順位

尾道市の人口の県内順位は第5位

尾道市の人口(138,626 人)は、県内順位第5位となっています。また、人口増減率は県内平均 0.6% に対し、尾道市は 4.5%で、県内順位は第11位となっています。(図 1-2-1、図 1-2-2、表 1-2)

图1-2-1 市町別人口 - 広島県 (平成27年)



图1-2-2 市町別人口増減率 - 広島県(平成22年~27年)

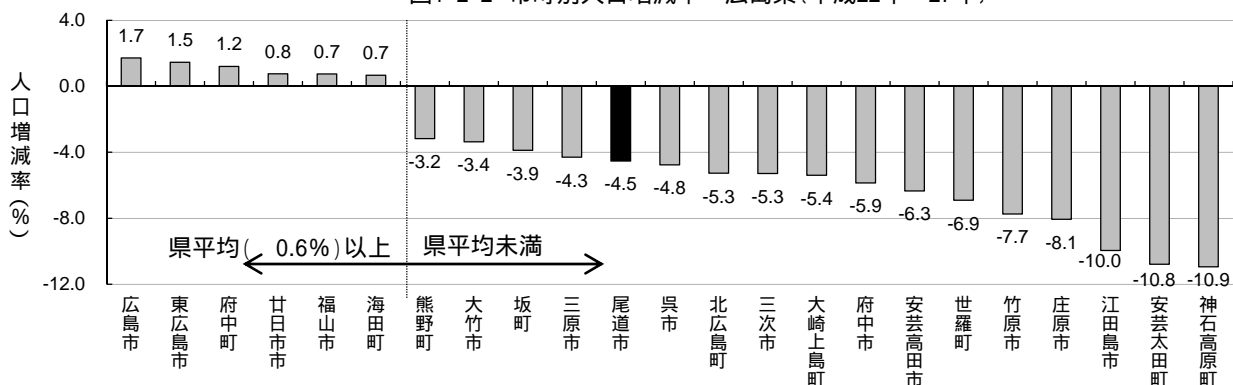


表1-2 市区町、男女別人口 - 広島県 (平成27年)

市区町	人 口			人口増減		
	平成27年			平成22年	平成22~27年	
	総数	男	女	総数	増減数(人)	増減率(%)
広島県	2,843,990	1,376,211	1,467,779	2,860,750	16,760	0.6
広島市	1,194,034	576,850	617,184	1,173,843	20,191	1.7
中区	136,640	64,659	71,981	130,482	6,158	4.7
東区	120,155	57,251	62,904	120,751	596	0.5
南区	142,728	69,972	72,756	138,190	4,538	3.3
西区	190,929	91,694	99,235	186,985	3,944	2.1
安佐南区	242,512	118,617	123,895	233,733	8,779	3.8
安佐北区	145,018	68,975	76,043	149,633	4,615	3.1
安芸区	79,353	39,417	39,936	78,789	564	0.7
佐伯区	136,699	66,265	70,434	135,280	1,419	1.0
呉市	228,552	110,173	118,379	239,973	11,421	4.8
竹原市	26,426	12,563	13,863	28,644	2,218	7.7
三原市	96,194	45,730	50,464	100,509	4,315	4.3
尾道市	138,626	66,292	72,334	145,202	6,576	4.5
福山市	464,811	225,414	239,397	461,357	3,454	0.7
府中市	40,069	19,171	20,898	42,563	2,494	5.9
三次市	53,615	25,365	28,250	56,605	2,990	5.3
庄原市	37,000	17,521	19,479	40,244	3,244	8.1
大竹市	27,865	13,492	14,373	28,836	971	3.4
東広島市	192,907	97,962	94,945	190,135	2,772	1.5
廿日市市	114,906	54,654	60,252	114,038	868	0.8
安芸高田市	29,488	14,043	15,445	31,487	1,999	6.3
江田島市	24,339	12,027	12,312	27,031	2,692	10.0
府中町	51,053	24,917	26,136	50,442	611	1.2
海田町	28,667	14,127	14,540	28,475	192	0.7
熊野町	23,755	11,460	12,295	24,533	778	3.2
坂町	12,747	6,084	6,663	13,262	515	3.9
安芸太田町	6,472	2,989	3,483	7,255	783	10.8
北広島町	18,918	9,177	9,741	19,969	1,051	5.3
大崎上島町	7,992	4,106	3,886	8,448	456	5.4
世羅町	16,337	7,724	8,613	17,549	1,212	6.9
神石高原町	9,217	4,370	4,847	10,350	1,133	10.9

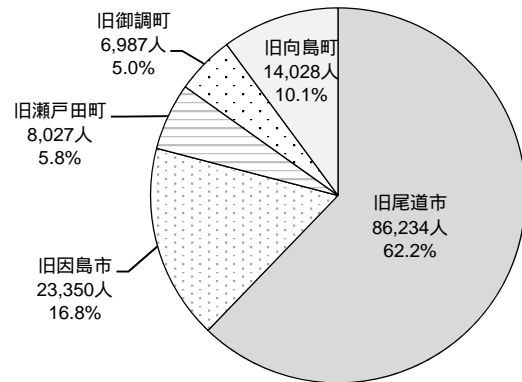
3 旧市町の人口

全ての旧市町で減少

旧市町別の人口は、最も多いのは旧尾道市の86,234人で、市人口の62.2%を占めています。次いで旧因島市(23,350人、16.8%)、旧向島町(14,028人、10.1%)、旧瀬戸田町(8,027人、5.8%)となっており、最も少ないのが旧御調町(6,987人、5.0%)でした。(図1-3-1)

人口増減の状況を見ると、全ての旧市町で減少しています。減少率が最も高いのは旧瀬戸田町及び旧因島市の8.2%、次いで旧御調町(7.5%)、旧向島町(5.9%)、旧尾道市(2.6%)となっています。(表1-3)

図1-3-1 人口及び構成比 - 旧市町(平成27年)



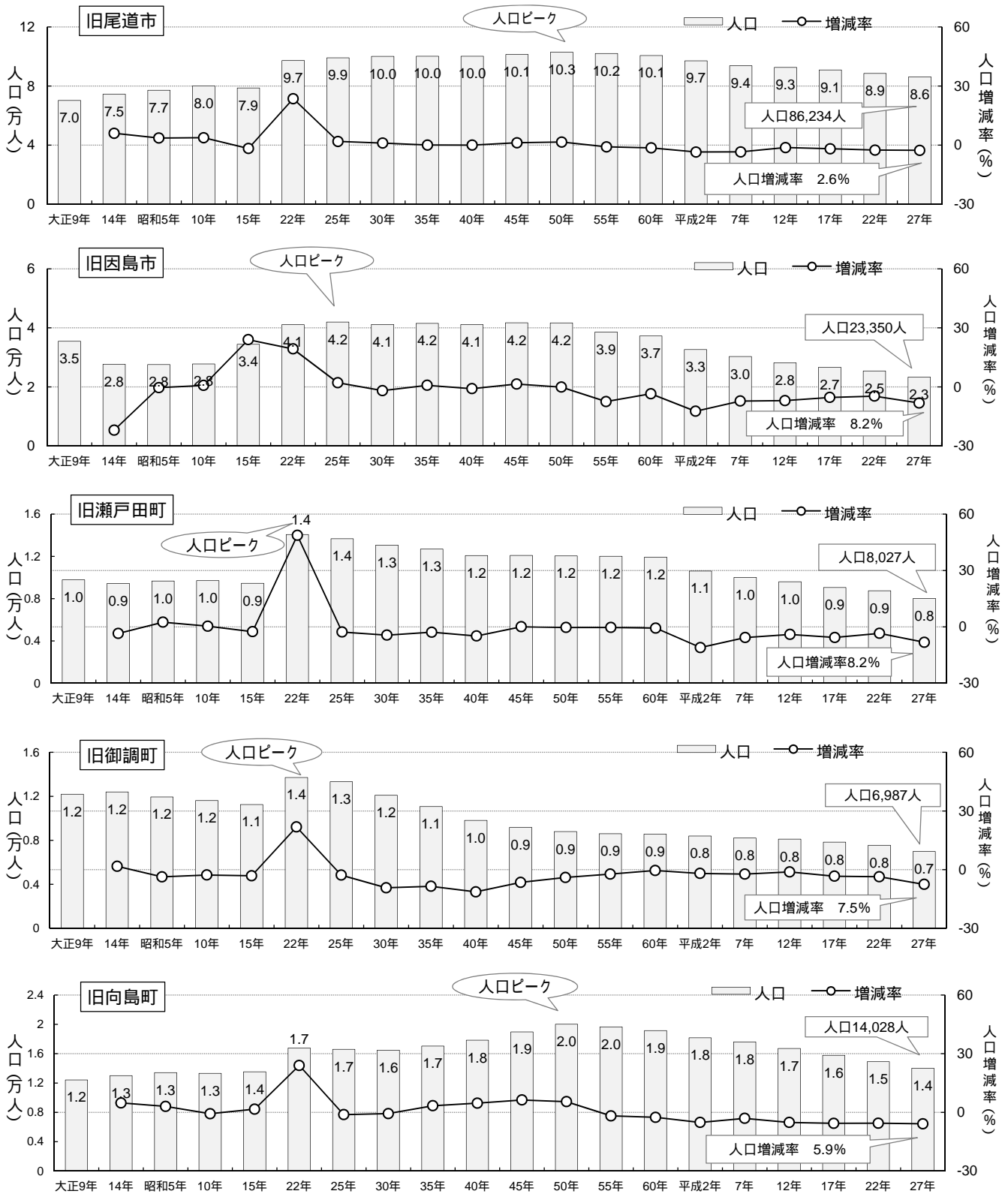
前回(平成17年~22年)の減少率と今回(平成22年~27年)の減少率を比べると、旧瀬戸田町の減少率は前回(3.5%)に比べて4.7ポイント、旧御調町の減少率は前回(3.6%)に比べて3.9ポイント減少幅が拡大し、どちらも比べ2倍以上高くなっています。旧因島市の減少率は前回(4.7%)に比べて3.5ポイント減少幅が拡大し、およそ2倍高くなっています。(表1-3)

旧尾道市は、昭和30年から昭和60年まで約10万人で横ばいでしたが、平成2年以降は減少を続けています。旧因島市は昭和22年から昭和50年まで横ばいで推移した後、昭和55年に減少率が高くなり、以降減少し続けています。旧瀬戸田町は昭和22年の人口ピーク後、昭和40年から昭和60年までは横ばいで推移し、平成2年以降は減少を続けています。旧御調町は昭和22年の人口ピーク以降、一貫して人口の減少が続いています。旧向島町は昭和50年の人口ピーク以降、人口は減少し続けています。(図1-3-2)

表1-3 人口の推移 - 旧市町(大正9年~平成27年)

年次	旧尾道市		旧因島市		旧瀬戸田町		旧御調町		旧向島町	
	人口(人)	(対前回)増減率(%)	人口(人)	(対前回)増減率(%)	人口(人)	(対前回)増減率(%)	人口(人)	(対前回)増減率(%)	人口(人)	(対前回)増減率(%)
大正9年	70,279	-	35,469	-	9,785	-	12,191	-	12,416	-
14	74,507	6.0	27,674	22.0	9,440	3.5	12,400	1.7	13,017	4.8
昭和5年	77,183	3.6	27,567	0.4	9,674	2.5	11,944	3.7	13,414	3.0
10	80,082	3.8	27,773	0.7	9,708	0.4	11,618	2.7	13,319	0.7
15	78,713	1.7	34,437	24.0	9,459	2.6	11,252	3.2	13,536	1.6
22	97,286	23.6	41,085	19.3	14,067	48.7	13,709	21.8	16,783	24.0
25	99,100	1.9	41,960	2.1	13,678	2.8	13,326	2.8	16,589	1.2
30	100,134	1.0	41,164	1.9	13,073	4.4	12,091	9.3	16,485	0.6
35	100,185	0.1	41,502	0.8	12,701	2.8	11,064	8.5	17,045	3.4
40	100,176	0.0	41,128	0.9	12,081	4.9	9,807	11.4	17,846	4.7
45	101,363	1.2	41,729	1.5	12,089	0.1	9,167	6.5	18,977	6.3
50	102,951	1.6	41,683	0.1	12,051	0.3	8,800	4.0	20,018	5.5
55	102,056	0.9	38,579	7.4	12,012	0.3	8,599	2.3	19,655	1.8
60	100,640	1.4	37,239	3.5	11,932	0.7	8,563	0.4	19,158	2.5
平成2年	97,103	3.5	32,640	12.3	10,616	11.0	8,397	1.9	18,174	5.1
7	93,756	3.4	30,300	7.2	10,011	5.7	8,207	2.3	17,616	3.1
12	92,586	1.2	28,187	7.0	9,606	4.0	8,111	1.2	16,710	5.1
17	90,873	1.9	26,677	5.4	9,062	5.7	7,839	3.4	15,774	5.6
22	88,569	2.5	25,430	4.7	8,747	3.5	7,555	3.6	14,901	5.5
27	86,234	2.6	23,350	8.2	8,027	8.2	6,987	7.5	14,028	5.9

図 1-3-2 人口及び人口増減率の推移 - 旧市町(大正9年～平成27年)



4 年齢別人口

尾道市の65歳以上人口の割合は34.2%、前回調査(H22年)より3.8ポイントの上昇

尾道市の年齢別人口(3区分)を見てみると、15歳未満人口(年少人口)は15,945人(市人口の11.6%)、15～64歳人口(生産年齢人口)は74,805人(同54.2%)、65歳以上人口(老年人口)は47,146人(同34.2%)となっています。人口のピーク時(昭和50年)以降、15歳未満人口及び15～64歳人口は一貫して減少し、65歳以上人口は増加しています。(図1-4-1)

15歳未満人口の割合は前回(11.9%)と比べて0.3ポイント低下、15～64歳人口の割合は前回(57.7%)と比べて3.5ポイント低下、65歳以上人口の割合は前回(30.4%)と比べて3.8ポイント上昇しています。また、65歳以上人口の割合は、昭和35年(7.9%)以降上昇が続いています。(図1-4-2、表1-4)

人口ピラミッドは、昭和35年の富士山型から釣鐘型を経てつぼ型へと変化しています。(図1-4-3)

図1-4-1 年齢(3区分)別人口の推移 - 尾道市(昭和35年～平成27年)

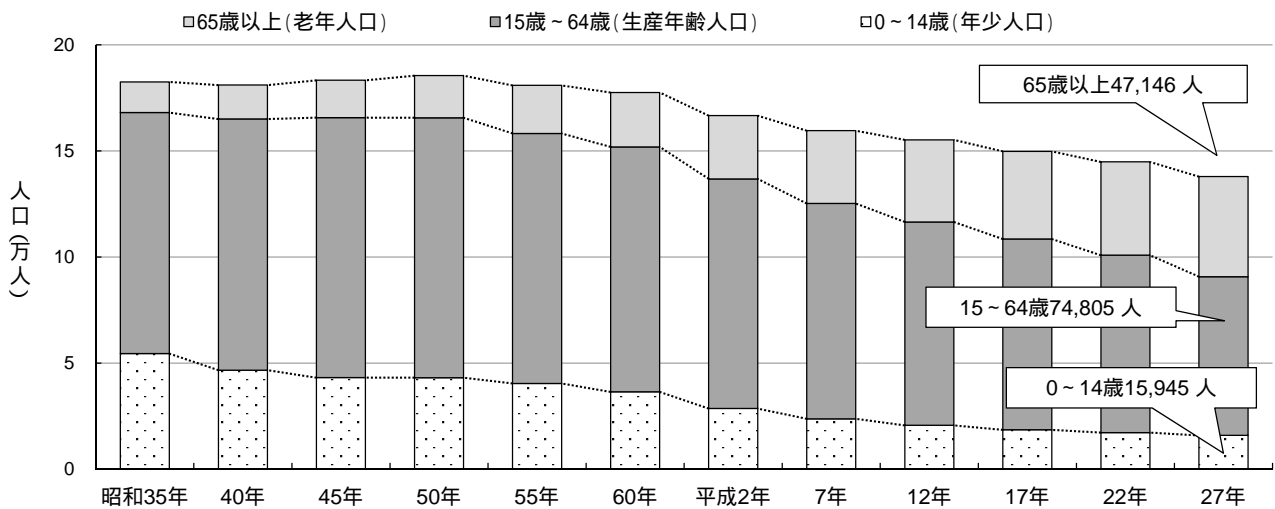


図1-4-2 年齢(3区分)別人口の割合の推移 - 尾道市(昭和35年～平成27年)

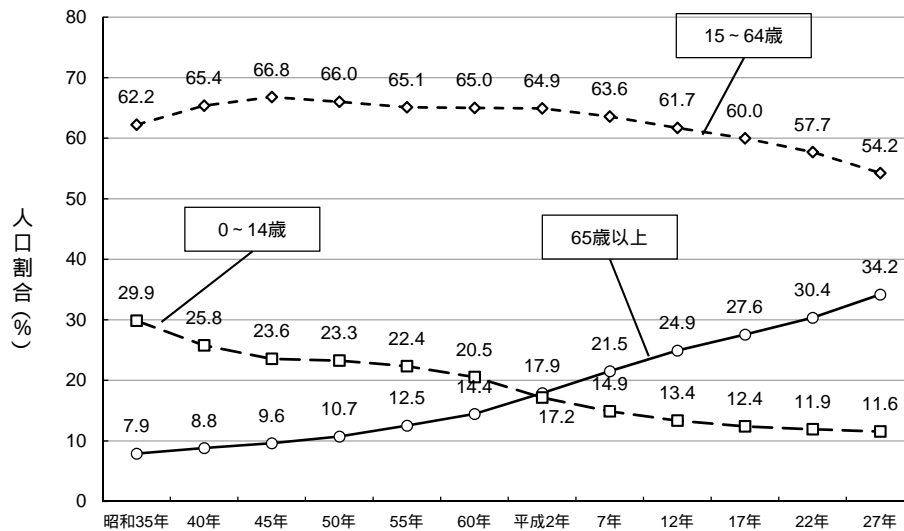
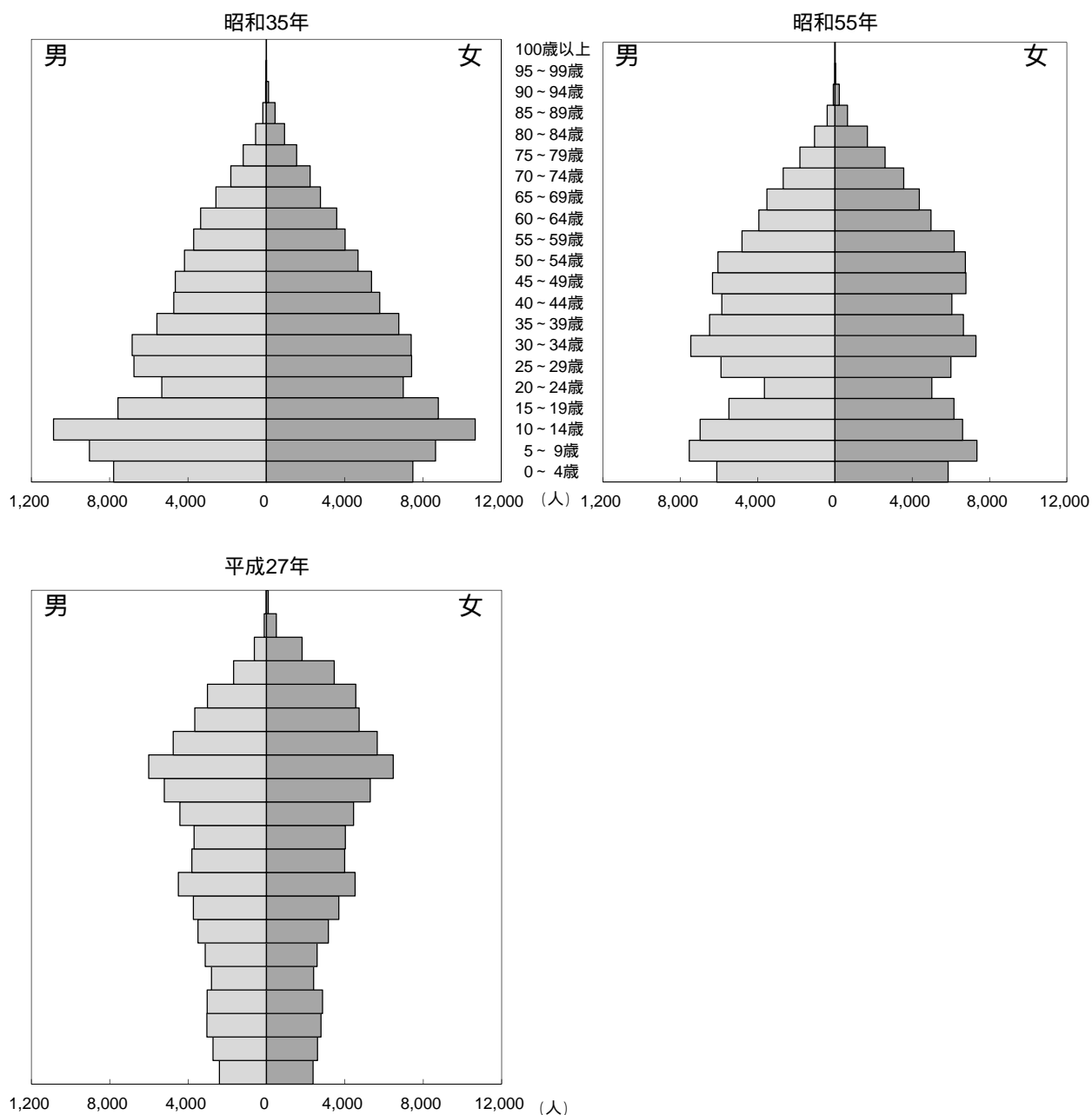


表 1-4 年齢(3区分)別人口・年齢構造 - 尾道市 (昭和35年～平成27年)

年次	実数(人)					割合(%)			(対前回)増減率(%)		
	総数	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	年齢 不詳	0～14 歳	15～64 歳	65歳 以上	0～14 歳	15～64 歳	65歳以 上
昭和35年	182,497	54,506	113,584	14,407	-	29.9	62.2	7.9	-	-	-
40	181,038	46,691	118,360	15,987	-	25.8	65.4	8.8	14.3	4.2	11.0
45	183,325	43,186	122,493	17,646	-	23.6	66.8	9.6	7.5	3.5	10.4
50	185,503	43,149	122,468	19,883	3	23.3	66.0	10.7	0.1	0.0	12.7
55	180,901	40,436	117,795	22,669	1	22.4	65.1	12.5	6.3	3.8	14.0
60	177,532	36,472	115,411	25,646	3	20.5	65.0	14.4	9.8	2.0	13.1
平成2年	166,930	28,623	108,200	29,825	282	17.2	64.9	17.9	21.5	6.2	16.3
7	159,890	23,768	101,482	34,318	322	14.9	63.6	21.5	17.0	6.2	15.1
12	155,200	20,723	95,785	38,688	4	13.4	61.7	24.9	12.8	5.6	12.7
17	150,225	18,601	89,877	41,294	453	12.4	60.0	27.6	10.2	6.2	6.7
22	145,202	17,282	83,602	43,964	354	11.9	57.7	30.4	7.1	7.0	6.5
27	138,626	15,945	74,805	47,146	730	11.6	54.2	34.2	7.7	10.5	7.2

総数には「年齢不詳」を含み、割合は「年齢不詳」を除いて算出(年齢別人口÷(総数-年齢不詳)×100)。

図 1-4-3 人口ピラミッドの推移 - 尾道市 (昭和35年、55年、平成27年)



5 旧市町の年齢(3区分)別人口

市内の全ての旧市町で 65 歳以上人口の割合が上昇
 最も高いのは旧瀬戸田町(43.0%)

旧市町の年齢(3区分)別人口をしてみると、全ての旧市町で65歳以上人口(老年人口)の割合が30%を超えました。最も高いのは旧瀬戸田町で 43.0%、次いで旧因島市(40.4%)、旧御調町(37.3%)、旧向島町(36.7%)となっており、最も低いのは旧尾道市で 31.0%でした。また、15~64歳人口(生産年齢人口)の割合は、旧瀬戸田町で初めて 50%を下回り、旧因島市でも 50%に近い値となりました。0~14歳人口(年少人口)は、旧瀬戸田町で最も低く 8.9%、最も高かった尾道市で 12.7%となっており、全ての旧市区町村で昭和 35 年以降最も低くなっています。(図 1-5-1、図 1-5-2、表 1-5-1~表 1-5-5)

図 1-5-1 年齢(3区分)別人口の推移 - 旧市町 (昭和 35 年~平成 27 年)

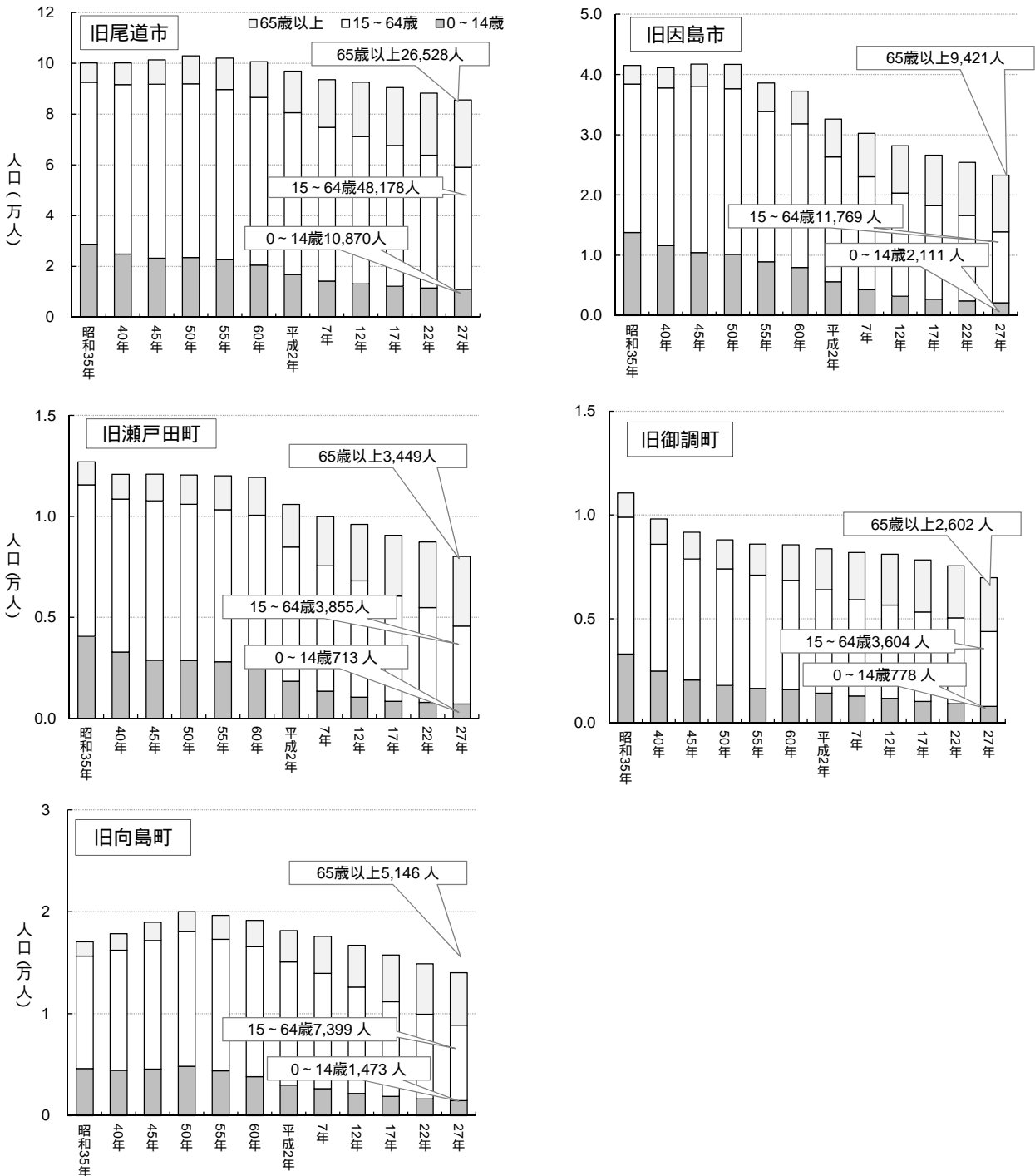


図 1-5-2 年齢(3区分)別人口の割合の推移 - 旧市町(昭和35年~平成27年)

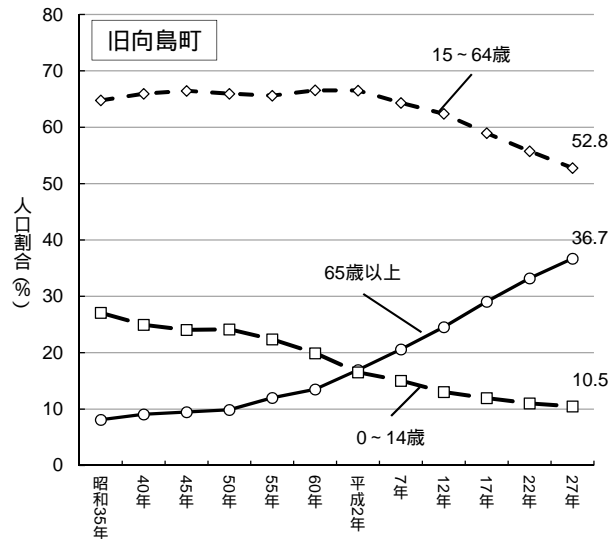
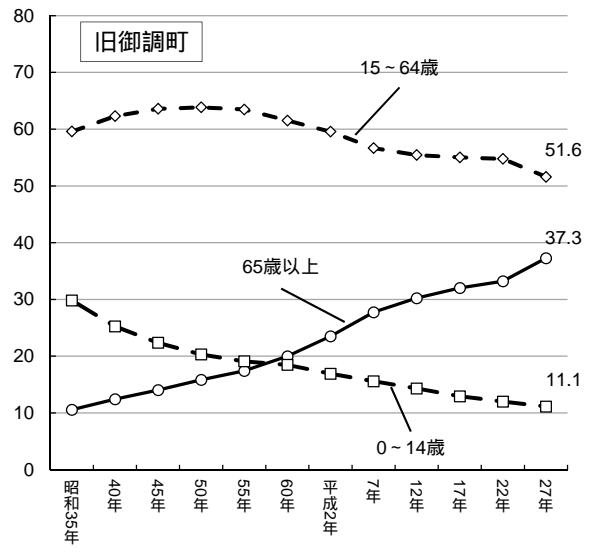
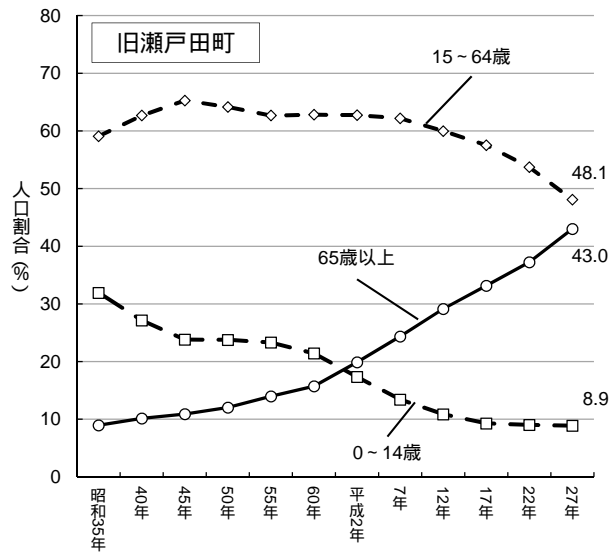
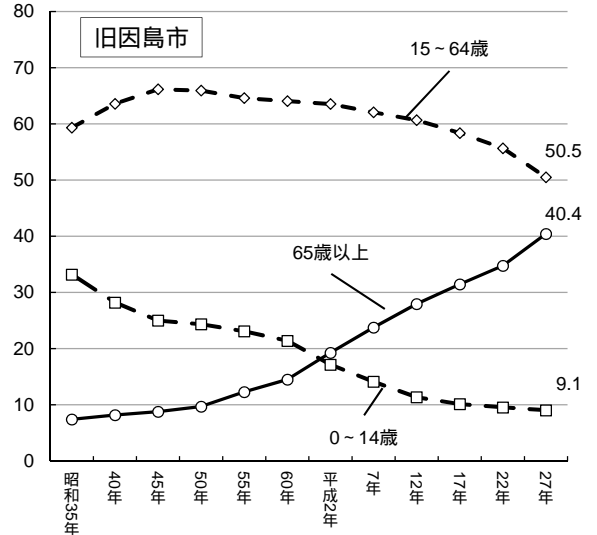
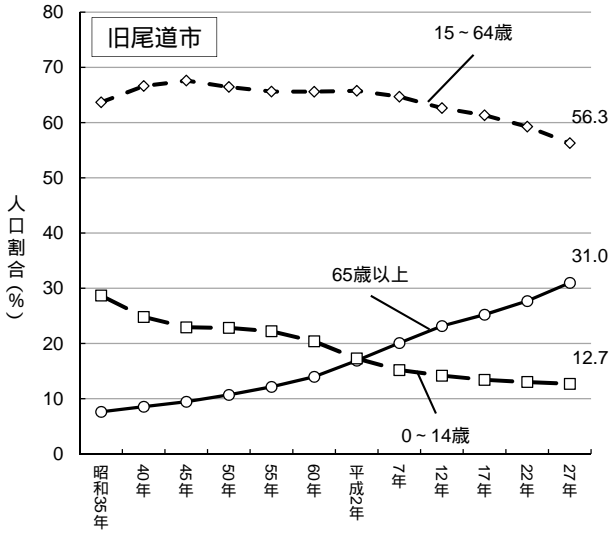


表 1-5-1 年齢(3区分)別人口の推移 - 旧尾道市 (昭和35年～平成27年)

年次	実数(人)					割合(%)			(対前回)増減率(%)		
	総数	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	年齢 不詳	0～14 歳	15～64 歳	65歳 以上	0～14 歳	15～64 歳	65歳以 上
昭和35年	100,185	28,749	63,808	7,628	-	28.7	63.7	7.6	-	-	-
40	100,176	24,867	66,751	8,558	-	24.8	66.6	8.5	13.5	4.6	12.2
45	101,363	23,247	68,543	9,573	-	22.9	67.6	9.4	6.5	2.7	11.9
50	102,951	23,505	68,424	11,019	3	22.8	66.5	10.7	1.1	0.2	15.1
55	102,056	22,678	66,984	12,393	1	22.2	65.6	12.1	3.5	2.1	12.5
60	100,640	20,537	66,032	14,068	3	20.4	65.6	14.0	9.4	1.4	13.5
平成2年	97,103	16,771	63,770	16,391	171	17.3	65.8	16.9	18.3	3.4	16.5
7	93,756	14,227	60,548	18,800	181	15.2	64.7	20.1	15.2	5.1	14.7
12	92,586	13,129	57,999	21,455	3	14.2	62.6	23.2	7.7	4.2	14.1
17	90,873	12,155	55,512	22,824	382	13.4	61.3	25.2	7.4	4.3	6.4
22	88,569	11,511	52,316	24,421	321	13.0	59.3	27.7	5.3	5.8	7.0
27	86,234	10,870	48,178	26,528	658	12.7	56.3	31.0	5.6	7.9	8.6

表 1-5-2 年齢(3区分)別人口の推移 - 旧因島市 (昭和35年～平成27年)

年次	実数(人)					割合(%)			(対前回)増減率(%)		
	総数	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	年齢 不詳	0～14 歳	15～64 歳	65歳 以上	0～14 歳	15～64 歳	65歳以 上
昭和35年	41,502	13,780	24,636	3,086	-	33.2	59.4	7.4	-	-	-
40	41,128	11,607	26,157	3,364	-	28.2	63.6	8.2	15.8	6.2	9.0
45	41,729	10,442	27,615	3,672	-	25.0	66.2	8.8	10.0	5.6	9.2
50	41,683	10,153	27,490	4,040	-	24.4	66.0	9.7	2.8	0.5	10.0
55	38,579	8,913	24,926	4,740	-	23.1	64.6	12.3	12.2	9.3	17.3
60	37,239	7,975	23,861	5,403	-	21.4	64.1	14.5	10.5	4.3	14.0
平成2年	32,640	5,597	20,724	6,286	33	17.2	63.6	19.3	29.8	13.1	16.3
7	30,300	4,275	18,765	7,188	72	14.1	62.1	23.8	23.6	9.5	14.3
12	28,187	3,207	17,102	7,878	-	11.4	60.7	27.9	25.0	8.9	9.6
17	26,677	2,704	15,546	8,374	53	10.2	58.4	31.5	15.7	9.1	6.3
22	25,430	2,432	14,152	8,835	11	9.6	55.7	34.8	10.1	9.0	5.5
27	23,350	2,111	11,769	9,421	49	9.1	50.5	40.4	13.2	16.8	6.6

表 1-5-3 年齢(3区分)別人口の推移 - 旧瀬戸田町 (昭和35年～平成27年)

年次	実数(人)					割合(%)			(対前回)増減率(%)		
	総数	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	年齢 不詳	0～14 歳	15～64 歳	65歳 以上	0～14 歳	15～64 歳	65歳以 上
昭和35年	12,701	4,058	7,505	1,138	-	32.0	59.1	9.0	-	-	-
40	12,081	3,283	7,572	1,226	-	27.2	62.7	10.1	19.1	0.9	7.7
45	12,089	2,880	7,891	1,318	-	23.8	65.3	10.9	12.3	4.2	7.5
50	12,051	2,866	7,733	1,452	-	23.8	64.2	12.0	0.5	2.0	10.2
55	12,012	2,802	7,529	1,681	-	23.3	62.7	14.0	2.2	2.6	15.8
60	11,932	2,559	7,496	1,877	-	21.4	62.8	15.7	8.7	0.4	11.7
平成2年	10,616	1,838	6,646	2,107	25	17.4	62.8	19.9	28.2	11.3	12.3
7	10,011	1,342	6,211	2,434	24	13.4	62.2	24.4	27.0	6.5	15.5
12	9,606	1,045	5,761	2,800	-	10.9	60.0	29.1	22.1	7.2	15.0
17	9,062	842	5,214	3,006	-	9.3	57.5	33.2	19.4	9.5	7.4
22	8,747	789	4,692	3,253	13	9.0	53.7	37.2	6.3	10.0	8.2
27	8,027	713	3,855	3,449	10	8.9	48.1	43.0	9.6	17.8	6.0

表 1-5-4 年齢(3区分)別人口の推移 - 旧御調町 (昭和35年～平成27年)

年次	実数(人)					割合(%)			(対前回)増減率(%)		
	総数	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	年齢 不詳	0～14 歳	15～64 歳	65歳 以上	0～14 歳	15～64 歳	65歳以 上
昭和35年	11,064	3,300	6,594	1,170	-	29.8	59.6	10.6	-	-	-
40	9,807	2,478	6,110	1,219	-	25.3	62.3	12.4	24.9	7.3	4.2

45	9,167	2,051	5,831	1,285	-	22.4	63.6	14.0	17.2	4.6	5.4
50	8,800	1,788	5,619	1,393	-	20.3	63.9	15.8	12.8	3.6	8.4
55	8,599	1,643	5,458	1,498	-	19.1	63.5	17.4	8.1	2.9	7.5
60	8,563	1,582	5,269	1,712	-	18.5	61.5	20.0	3.7	3.5	14.3
平成2年	8,397	1,416	4,987	1,968	26	16.9	59.6	23.5	10.5	5.4	15.0
7	8,207	1,278	4,645	2,272	12	15.6	56.7	27.7	9.7	6.9	15.4
12	8,111	1,162	4,498	2,451	-	14.3	55.5	30.2	9.1	3.2	7.9
17	7,839	1,014	4,314	2,509	2	12.9	55.0	32.0	12.7	4.1	2.4
22	7,555	907	4,137	2,509	2	12.0	54.8	33.2	10.6	4.1	0.0
27	6,987	778	3,604	2,602	3	11.1	51.6	37.3	14.2	12.9	3.7

表 1-5-5 年齢(3区分)別人口の推移 - 旧向島町 (昭和35年～平成27年)

年次	実数(人)					割合(%)			(対前回)増減率(%)		
	総数	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	年齢 不詳	0～14 歳	15～64 歳	65歳 以上	0～14 歳	15～64 歳	65歳以 上
昭和35年	17,045	4,619	11,041	1,385	-	27.1	64.8	8.1	-	-	-
40	17,846	4,456	11,770	1,620	-	25.0	66.0	9.1	3.5	6.6	17.0
45	18,977	4,566	12,613	1,798	-	24.1	66.5	9.5	2.5	7.2	11.0
50	20,018	4,837	13,202	1,979	-	24.2	66.0	9.9	5.9	4.7	10.1
55	19,655	4,400	12,898	2,357	-	22.4	65.6	12.0	9.0	2.3	19.1
60	19,158	3,819	12,753	2,586	-	19.9	66.6	13.5	13.2	1.1	9.7
平成2年	18,174	3,001	12,073	3,073	27	16.5	66.5	16.9	21.4	5.3	18.8
7	17,616	2,646	11,313	3,624	33	15.0	64.3	20.6	11.8	6.3	17.9
12	16,710	2,180	10,425	4,104	1	13.0	62.4	24.6	17.6	7.8	13.2
17	15,774	1,886	9,291	4,581	16	12.0	59.0	29.1	13.5	10.9	11.6
22	14,901	1,643	8,305	4,946	7	11.0	55.8	33.2	12.9	10.6	8.0
27	14,028	1,473	7,399	5,146	10	10.5	52.8	36.7	10.3	10.9	4.0

第2 尾道市の配偶関係

1 配偶関係

「有配偶」が「未婚」を上回るのは、男女ともに30～34歳以上の年齢階級

男女別15歳以上人口について、年齢(5歳階級)別の配偶関係の割合をみると、「未婚」は男女ともにほとんどの年齢階級で上昇しています。「未婚」の割合と「有配偶」の割合をみると、「有配偶」が「未婚」を上回るのは、男女ともに30～34歳以上の年齢階級となっています。(図2-1、表2-1)

図2-1 配偶関係、年齢(5歳階級)、男女別15歳以上人口の割合 - 尾道市(平成7年、17年、27年)

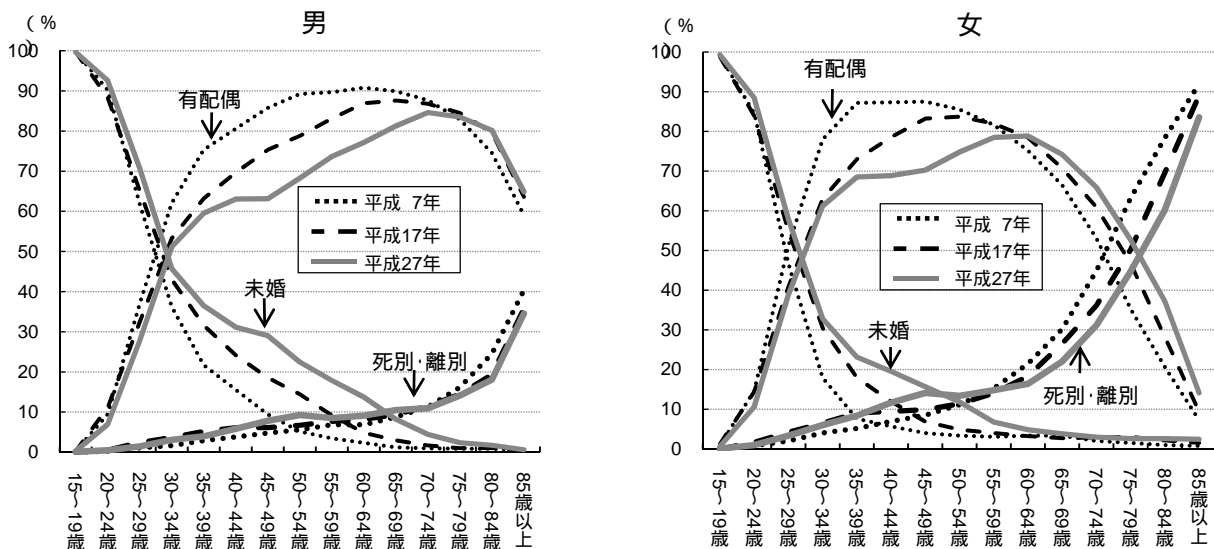


表 2-1 配偶関係、年齢(5 歳階級)、男女別 15 歳以上人口の割合 - 尾道市(昭和 60 年、平成 7 年、平成 17 年、平成 27 年)

男女、年齢	昭和 60 年(%)			平成 7 年(%)			平成 17 年(%)			平成 27 年(%)		
	未婚	有配偶	死別 離別	未婚	有配偶	死別 離別	未婚	有配偶	死別 離別	未婚	有配偶	死別 離別
男 全体	21.8	72.8	5.3	23.5	70.3	6.3	25.1	67.0	7.9	28.5	62.5	8.9
15～19 歳	99.7	0.3	-	99.7	0.3	-	99.7	0.3	0.0	99.6	0.3	0.1
20～24 歳	88.0	11.8	0.2	90.2	9.5	0.3	88.2	11.2	0.6	92.6	7.0	0.4
25～29 歳	57.2	42.1	0.7	61.9	37.0	1.1	65.1	32.4	2.4	70.8	27.8	1.4
30～34 歳	24.6	73.5	1.9	36.2	62.1	1.6	43.0	53.3	3.7	45.8	51.2	3.1
35～39 歳	10.8	86.0	3.2	21.7	75.4	2.9	31.6	63.2	5.2	36.5	59.6	3.9
40～44 歳	5.9	90.8	3.2	15.6	80.6	3.8	24.2	69.7	6.1	31.1	63.0	5.8
45～49 歳	3.9	92.1	4.0	9.5	85.8	4.8	18.6	75.3	6.1	29.1	63.1	7.8
50～54 歳	2.7	93.0	4.3	5.2	89.3	5.6	14.5	78.8	6.7	22.5	68.3	9.3
55～59 歳	1.7	93.4	4.9	3.5	89.7	6.8	9.2	83.1	7.7	17.9	73.6	8.5
60～64 歳	1.5	92.3	6.3	2.3	90.8	6.8	4.8	87.0	8.2	13.7	77.2	9.1
65～69 歳	0.9	90.3	8.8	1.2	89.9	8.8	3.0	87.6	9.4	8.2	81.3	10.5
70～74 歳	0.5	86.0	13.6	1.0	87.7	11.3	1.7	86.8	11.5	4.4	84.6	10.9
75～79 歳	0.6	78.9	20.5	0.9	82.9	16.2	1.0	84.5	14.5	2.4	83.5	14.1
80～84 歳	0.9	68.4	30.7	0.9	74.6	24.6	1.0	79.7	19.3	1.7	80.2	18.1
85 歳以上	0.3	50.6	49.1	0.5	59.1	40.4	0.6	63.6	35.7	0.6	64.9	34.5
女 全体	17.1	63.7	19.2	18.5	60.6	20.9	17.5	58.4	24.1	18.2	55.8	26.0
15～19 歳	99.1	0.9	-	99.1	0.9	-	98.8	1.2	-	99.3	0.6	0.1
20～24 歳	79.1	20.3	0.6	84.5	14.6	0.8	83.9	14.4	1.7	88.5	10.6	1.0
25～29 歳	25.4	72.9	1.7	46.8	51.2	2.0	55.0	40.8	4.2	57.9	38.8	3.3
30～34 歳	7.5	89.2	3.3	17.9	78.0	4.1	30.5	63.0	6.5	32.8	61.2	6.0
35～39 歳	4.4	90.8	4.8	7.6	87.2	5.2	18.0	73.0	9.1	23.1	68.5	8.4
40～44 歳	3.4	90.4	6.2	5.7	87.4	6.9	12.0	78.5	9.5	19.5	68.8	11.7
45～49 歳	3.2	88.3	8.5	4.0	87.5	8.5	6.9	83.2	9.9	15.7	70.2	14.1
50～54 歳	3.5	84.7	11.8	3.3	85.5	11.1	4.9	83.7	11.4	11.9	74.8	13.4
55～59 歳	3.3	78.9	17.8	3.1	81.7	15.2	4.0	82.0	14.0	6.7	78.5	14.8
60～64 歳	2.4	70.5	27.1	3.3	75.1	21.5	3.2	78.4	18.4	4.8	78.8	16.4
65～69 歳	1.6	56.7	41.7	3.3	66.5	30.2	2.7	70.7	26.5	3.8	74.2	22.0
70～74 歳	1.2	41.2	57.6	2.0	53.0	44.9	2.9	60.9	36.2	3.0	65.9	31.1
75～79 歳	0.8	27.9	71.3	1.5	35.2	63.3	3.0	46.7	50.3	2.6	52.7	44.7
80～84 歳	0.5	16.4	83.0	1.0	20.7	78.4	2.2	28.2	69.6	2.6	37.2	60.2
85 歳以上	0.4	6.7	92.8	0.8	7.3	92.0	1.5	9.4	89.1	2.4	14.1	83.5

(注)配偶関係「不詳」を除いて算出。

2 未婚者率の推移

尾道市の 20～49 歳人口の未婚者率は、男女ともに 20～24 歳を除くすべての年齢階級で県平均を上回る。25 歳～39 歳の男性のおよそ 2 人に 1 人、女性のおよそ 3 人に 1 人が未婚者

尾道市の男女別 20～49 歳未婚者率を年齢別(5 歳階級)別にみると、男女ともに 20～24 歳を除くすべての年齢階級で県平均を上回っています。(表 2-2)

平成 17 年の 30～34 歳の男性未婚者率(43.0%)と平成 27 年の 40～44 歳の男性未婚者率(31.1%)を比べると、11.9 ポイントの低下、平成 17 年の 35～39 歳男性の未婚率(31.6%)と平成 27 年の 45～49 歳男性の未婚率(29.1%)を比べると 2.5 ポイントの低下となっています。(表 2-2)

同様に女性の未婚者率を見ると、平成 17 年の 30～34 歳の未婚者率(30.5%)と平成 27 年の 40～44 歳の未婚者率(19.5%)を比べると、11.0 ポイントの低下、平成 17 年の 35～39 歳の未婚者率(18.0%)と平成 27 年の 45～49 歳の未婚率(15.7%)を比べると 2.3 ポイントの低下となっています。(表 2-2)

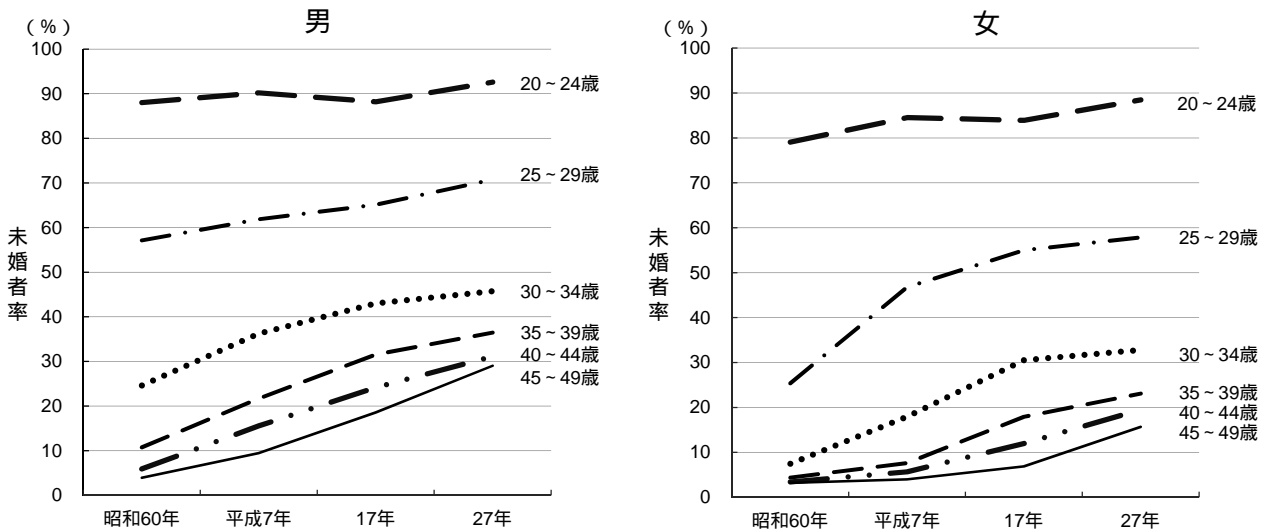
25 歳～39 歳の未婚者率は、男性 49.9%、女性 35.8%となっており、男性はおよそ 2 人に 1 人、女性はおよそ 3 人に 1 人が未婚者となっています。(表 2-2)

平成 27 年の未婚者率を昭和 60 年と比べると、男性の 25 歳～29 歳未婚者率上昇幅(13.6 ポイント)に対し、女性の 25 歳～29 歳未婚者率上昇幅は 32.5 ポイントで、上昇幅が大きくなっています。(図 2-2)

表 2-2 年齢(5歳階級)、男女別 20～49 歳人口の未婚者率の推移 - 尾道市(昭和 60 年、平成 7 年、平成 17 年、平成 27 年)

年齢	未婚者率(%)									
	男					女				
	昭和 60 年	平成 7 年	17 年	27 年	(参考) 広島県 27 年	昭和 60 年	平成 7 年	17 年	27 年	(参考) 広島県 27 年
20～24 歳	88.0	90.2	88.2	92.6	93.6	79.1	84.5	83.9	88.5	89.6
25～29 歳	57.2	61.9	65.1	70.8	68.5	25.4	46.8	55.0	57.9	56.9
30～34 歳	24.6	36.2	43.0	45.8	43.0	7.5	17.9	30.5	32.8	31.4
35～39 歳	10.8	21.7	31.6	36.5	32.6	4.4	7.6	18.0	23.1	22.4
40～44 歳	5.9	15.6	24.2	31.1	27.9	3.4	5.7	12.0	19.5	18.1
45～49 歳	3.9	9.5	18.6	29.1	24.3	3.2	4.0	6.9	15.7	15.6
(特掲)25～39 歳	27.4	38.4	46.1	49.9	46.6	11.2	23.5	33.6	35.8	35.3

図 2-2 年齢(5歳階級)、男女別 20～49 歳人口の未婚者率の推移 - 尾道市(昭和 60 年、平成 7 年、平成 17 年、平成 27 年)



第 3 尾道市の外国人人口

尾道市の外国人人口は 1,563 人で、平成 22 年と比べて微減

尾道市の外国人人口は、1,563 人で、市人口に占める割合は、1.1%となっています。平成 22 年と比べると 36 人減少しました。(図 3、表 3)

国籍別にみると、男性は「フィリピン」が 396 人(外国人人口の 36.1%)で最も多く、女性は「中国」が 184 人(同 39.6%)で最も多くなっています。(図 3、表 3)

図3 国籍、男女別外国人人口の推移 - 尾道市(平成17年～27年)

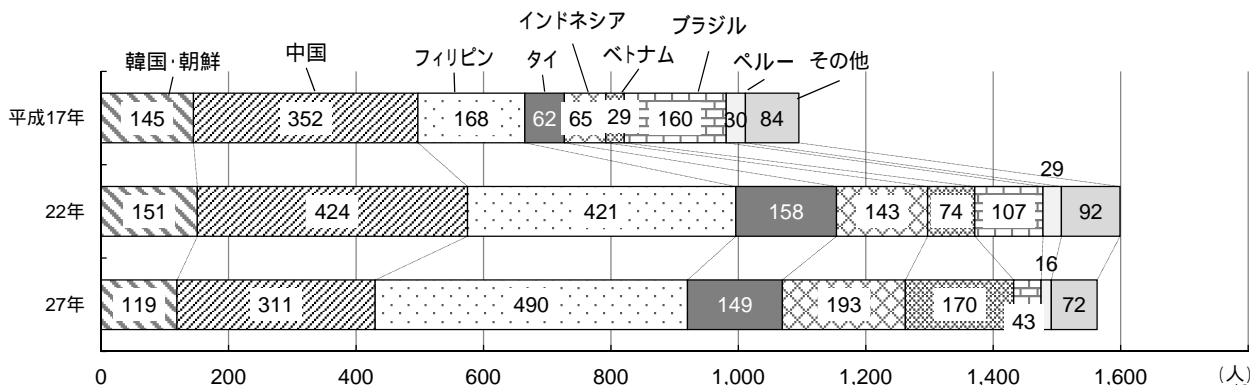


表3 国籍、男女別外国人人口の推移 - 尾道市(平成17年~27年)

国籍	平成17年			22年			27年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数(人)	1,095	610	485	1,599	1,080	519	1,563	1,098	465
韓国、朝鮮	145	73	72	151	74	77	119	63	56
中国	352	191	161	424	212	212	311	127	184
フィリピン	168	55	113	421	310	111	490	396	94
タイ	62	59	3	158	145	13	149	124	25
インドネシア	65	62	3	143	137	6	193	169	24
ベトナム	29	9	20	74	68	6	170	142	28
ブラジル	160	90	70	107	64	43	43	23	20
ペルー	30	18	12	29	17	12	16	12	4
その他 1)	84	53	31	92	53	39	72	42	30
割合(%) 2)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
韓国、朝鮮	13.2	12.0	14.8	9.4	6.9	14.8	7.6	5.7	12.0
中国	32.1	31.3	33.2	26.5	19.6	40.8	19.9	11.6	39.6
フィリピン	15.3	9.0	23.3	26.3	28.7	21.4	31.3	36.1	20.2
タイ	5.7	9.7	0.6	9.9	13.4	2.5	9.5	11.3	5.4
インドネシア	5.9	10.2	0.6	8.9	12.7	1.2	12.3	15.4	5.2
ベトナム	2.6	1.5	4.1	4.6	6.3	1.2	10.9	12.9	6.0
ブラジル	14.6	14.8	14.4	6.7	5.9	8.3	2.8	2.1	4.3
ペルー	2.7	3.0	2.5	1.8	1.6	2.3	1.0	1.1	0.9
その他	7.7	8.7	6.4	5.8	4.9	7.5	4.6	3.8	6.5

1) 無国籍及び国名「不詳」を含む。

2) 分母に不詳を含めて算出。

第4 尾道市の世帯の状況

1 世帯数の推移

尾道市の世帯数は57,759世帯、
前回調査(H22年)より1,013世帯(1.7%)の減少

尾道市の世帯数は57,759世帯で、前回(58,772世帯)と比べ、1,013世帯(1.7%)の減少となりました。世帯数は増加を続けていましたが、今回減少に転じました。(表4-1)

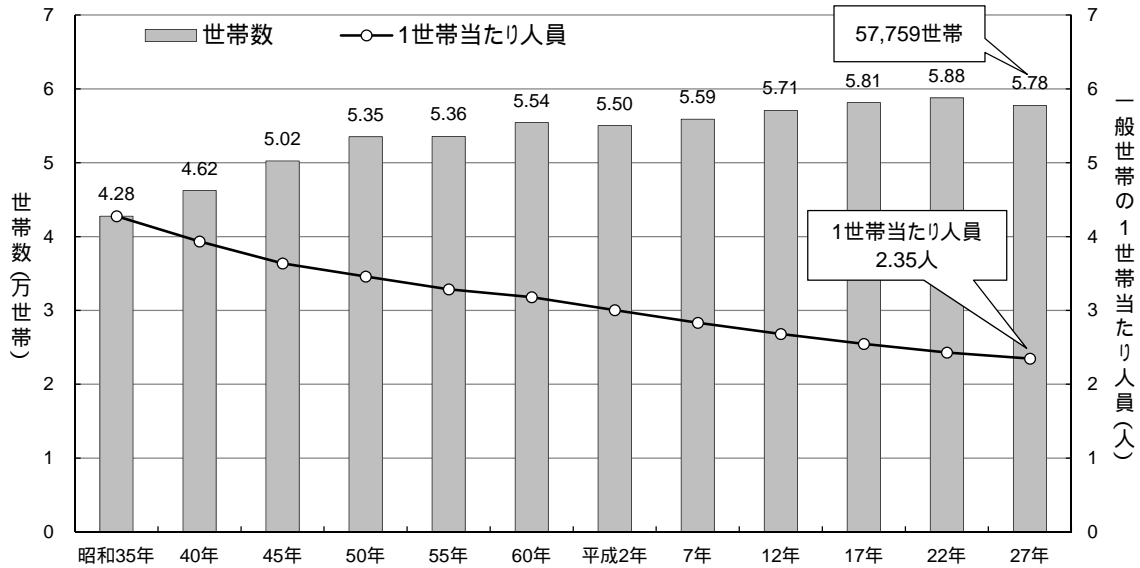
一般世帯の1世帯当たりの人員は2.35人で、前回と比べると0.08人の減少となっています。昭和35年(4.28人)からは一貫して減少を続けており、昭和35年の約半分になりました。(表4-1、図4-1)

表4-1 世帯数及び一般世帯の1世帯当たり人員の推移 - 尾道市(昭和35年~平成27年)

年次	世帯数 (世帯)	(対前回)増減数 (対前回)増減率		1世帯当たり 人員(一般世帯) (人)	(対前回)増減数 (人)
		(世帯)	(%)		
昭和35年	42,766	-	-	4.28	-
40	46,238	3,472	8.1	3.93	0.34
45	50,241	4,003	8.7	3.64	0.30
50	53,512	3,271	6.5	3.46	0.18
55	53,552	40	0.1	3.29	0.17
60	55,447	1,895	3.5	3.18	0.11
平成2年	55,032	415	0.7	3.00	0.18
7	55,892	860	1.6	2.83	0.17
12	57,076	1,184	2.1	2.68	0.15
17	58,132	1,056	1.9	2.55	0.13
22	58,772	640	1.1	2.43	0.12
27	57,759	1,013	1.7	2.35	0.08

一般世帯とは、施設等の世帯(学校の寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所などの入院者、社会施設の入所者、自衛隊の営舎内、艦船内の居住者、矯正施設の入所者などから成る世帯)以外の世帯のことをいう。

図4-1 世帯数及び一般世帯の1世帯当たり人員の推移 - 尾道市(昭和35年～平成27年)



2 県内順位

尾道市の世帯数の県内順位は第5位

尾道市の世帯数(57,759世帯)は、県内順位第5位となっています。また、世帯増減率は県内平均2.2%に対し、尾道市は1.7%で、県内順位は第16位となっています。(図4-2-1、図4-2-2、表4-2)

図4-2-1 市町別世帯数 - 広島県(平成27年)

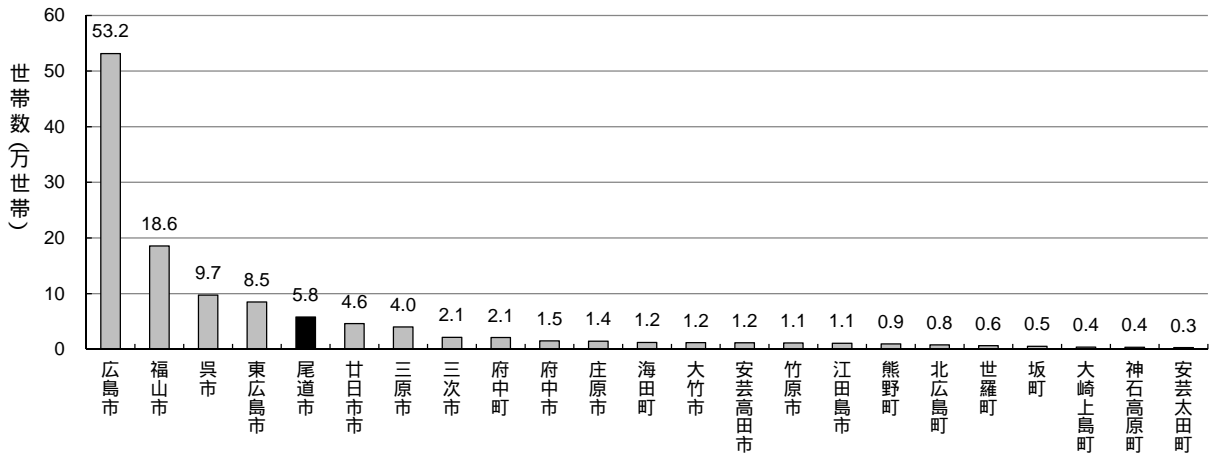


図4-2-2 市町別世帯増減率 - 広島県(平成27年)

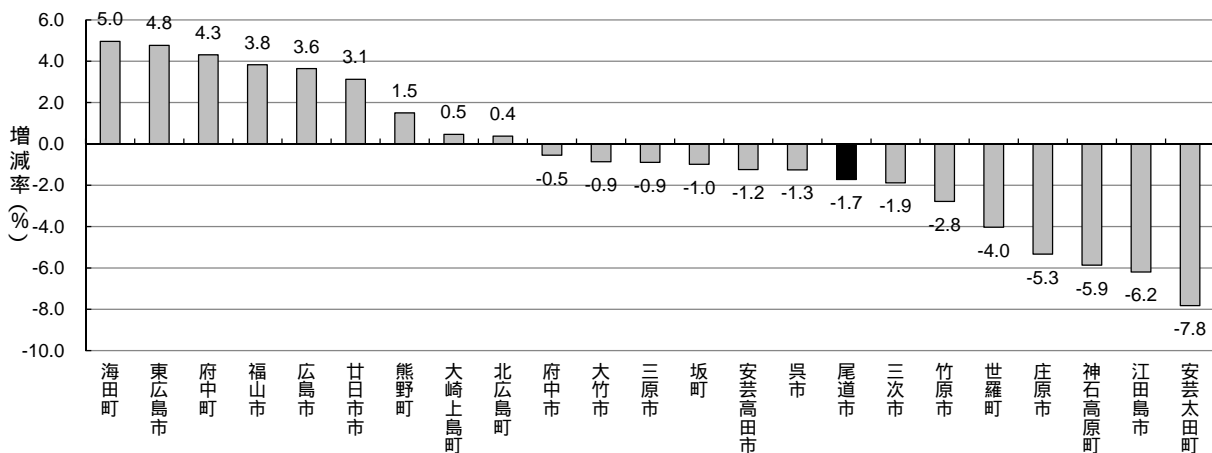


表 4-2 市区町別世帯数、世帯増減率 - 広島県(平成 17 年～平成 27 年)

市区町	世 帯 数				
	平成 27 年	平成 22 年	平成 17 年	平成 22～27 年	
				増減数	増減率
広島県	1,211,425	1,184,967	1,145,551	26,458	2.2
広島市	531,605	512,907	487,416	18,698	3.6
中区	76,889	73,281	68,055	3,608	4.9
東区	51,790	50,605	49,271	1,185	2.3
南区	68,785	66,357	63,539	2,428	3.7
西区	90,461	87,222	83,896	3,239	3.7
安佐南区	99,411	95,188	87,597	4,223	4.4
安佐北区	57,151	56,550	55,243	601	1.1
安芸区	31,302	30,310	28,832	992	3.3
佐伯区	55,816	53,394	50,983	2,422	4.5
呉市	97,412	98,654	100,514	1,242	1.3
竹原市	11,204	11,525	11,852	321	2.8
三原市	39,888	40,247	39,918	359	0.9
尾道市	57,759	58,772	58,132	1,013	1.7
福山市	185,555	178,718	168,728	6,837	3.8
府中市	15,039	15,122	15,384	83	0.5
三次市	21,376	21,786	21,968	410	1.9
庄原市	14,455	15,269	15,791	814	5.3
大竹市	11,749	11,851	11,711	102	0.9
東広島市	84,847	80,986	76,018	3,861	4.8
廿日市市	46,039	44,644	42,918	1,395	3.1
安芸高田市	11,657	11,804	11,931	147	1.2
江田島市	10,741	11,451	12,038	710	6.2
府中町	21,109	20,237	19,813	872	4.3
海田町	12,246	11,667	11,630	579	5.0
熊野町	9,430	9,291	9,211	139	1.5
坂町	5,132	5,183	4,593	51	1.0
安芸太田町	2,781	3,017	3,318	236	7.8
北広島町	7,728	7,699	7,894	29	0.4
大崎上島町	3,898	3,880	4,136	18	0.5
世羅町	6,242	6,504	6,588	262	4.0
神石高原町	3,533	3,753	4,049	220	5.9

3 旧市町の世帯数

市内の全ての旧市区町で減少。旧尾道市は、今回初めて減少に転じた。

旧市町別の世帯数は、最も多いのは旧尾道市の 35,620 世帯で、次いで旧因島市(10,423 世帯)、旧向島町(5,708 世帯)、旧瀬戸田町(3,569 世帯)となっており、最も少ないのは旧御調町(2,439 世帯)でした。(図 4-3-1)

世帯増減率の状況を見ると、全ての旧市町で減少しています。減少率が最も高いのは旧因島市の 5.1%、次いで旧瀬戸田町(4.1%)、旧御調町(2.5%)、旧向島町(1.3%)、旧尾道市(0.5%)となっています。(表 4-3-1)

旧尾道市の世帯数は昭和 35 年以降、一貫して増加していましたが、今回初めて減少に転じました。旧因島市の増減率は、平成 7 年以降 0.9%～0.7%の間で微増減していましたが、今回減少率が 5.0%を超えました。旧瀬戸田町では、平成 7 年以降増加していましたが、今回減少に転じました。(図 4-3-2、表 4-3-2)

一般世帯の 1 世帯当たり人員は、昭和 35 年以降すべての旧市町で減少しており、旧御調町の 2.69 人で最も大きく、旧因島市が 2.20 人で最も小さくなりました。(図 4-3-2、表 4-3-2)

図4-3-1 世帯数及び構成比 - 旧市町 (平成27年)

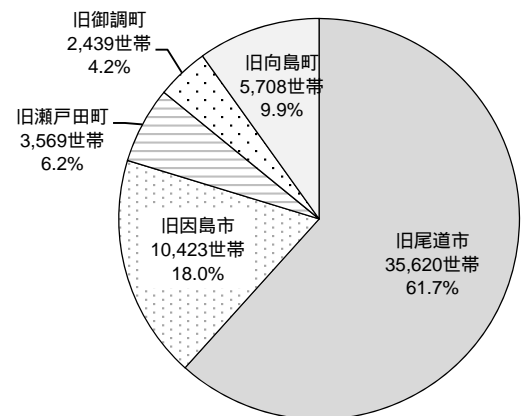


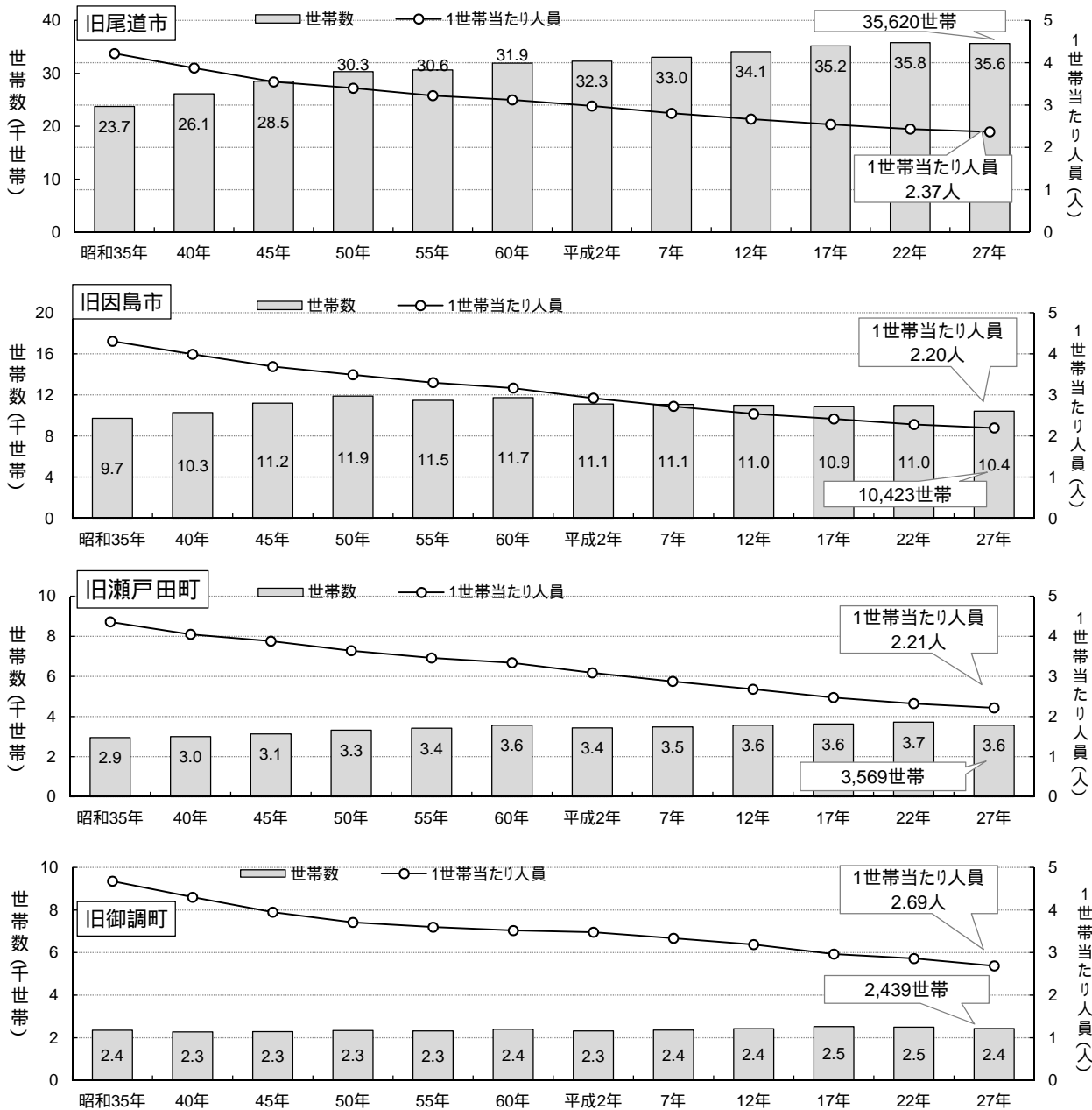
表 4-3-1 世帯数及び一般世帯の1世帯当たり人員 - 旧市町(平成22年～平成27年)

旧市町	世帯数							世帯数(総数)増減		
	平成27年				平成22年					
	総数 (世帯)	一般世帯		施設等 の世帯 (世帯)	総数 (世帯)	一般世帯		施設等 世帯 (世帯)	実数 (世帯)	率 (%)
		世帯数 (世帯)	1世帯当 たり人員 (人)			世帯数 (世帯)	世帯数 (世帯)			
市計	57,759	57,643	2.35	116	58,772	58,687	2.43	85	1,013	1.7
旧尾道市	35,620	35,560	2.37	60	35,787	35,741	2.44	46	167	0.5
旧因島市	10,423	10,400	2.20	23	10,978	10,963	2.28	15	555	5.1
旧瀬戸田町	3,569	3,559	2.21	10	3,723	3,718	2.32	5	154	4.1
旧御調町	2,439	2,423	2.69	16	2,502	2,489	2.86	13	63	2.5
旧向島町	5,708	5,701	2.43	7	5,782	5,776	2.55	6	74	1.3

一般世帯とは、施設等の世帯以外の世帯のことをいう。

施設等の世帯とは、学校の寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所などの入院者、社会施設の入所者、自衛隊の営舎内、艦船内の居住者、矯正施設の入所者などから成る世帯のことをいう。

図 4-3-2 世帯数及び一般世帯の1世帯当たり人員の推移 - 旧市町(昭和35年～平成27年)



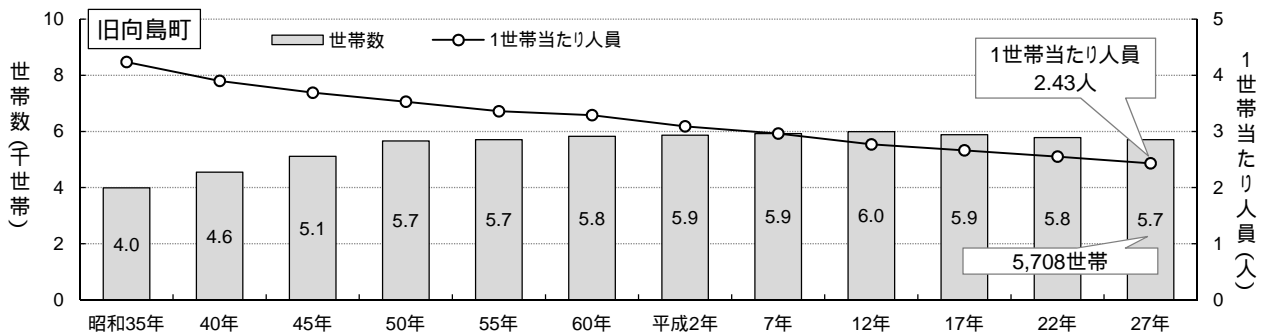


表 4-3-2 世帯総数及び一般世帯の1世帯当たり人員の推移 - 旧市町(昭和35年～平成27年)

年次	旧尾道市			旧因島市			旧瀬戸田町			旧御調町			旧向島町		
	世帯総数 (世帯)	増減率 (%)	1世帯当たり人員 (人) ↓	世帯総数 (世帯)	増減率 (%)	1世帯当たり人員 (人) ↓	世帯総数 (世帯)	増減率 (%)	1世帯当たり人員 (人) ↓	世帯総数 (世帯)	増減率 (%)	1世帯当たり人員 (人) ↓	世帯総数 (世帯)	増減率 (%)	1世帯当たり人員 (人) ↓
昭和35年	23,743	-	4.2	9,723	-	4.3	2,948	-	4.4	2,360	-	4.7	3,992	-	4.2
40	26,122	10.0	3.9	10,284	5.8	4.0	3,002	1.8	4.1	2,279	3.4	4.3	4,551	14.0	3.9
45	28,500	9.1	3.6	11,194	8.8	3.7	3,136	4.5	3.9	2,295	0.7	4.0	5,116	12.4	3.7
50	30,312	6.4	3.4	11,876	6.1	3.5	3,318	5.8	3.6	2,344	2.1	3.7	5,662	10.7	3.5
55	30,625	1.0	3.2	11,479	3.3	3.3	3,417	3.0	3.5	2,324	0.9	3.6	5,707	0.8	3.4
60	31,923	4.2	3.1	11,729	2.2	3.2	3,565	4.3	3.3	2,405	3.5	3.5	5,825	2.1	3.3
平成2年	32,293	1.2	3.0	11,113	5.3	2.9	3,434	3.7	3.1	2,326	3.3	3.5	5,866	0.7	3.1
7	33,049	2.3	2.8	11,073	0.4	2.7	3,481	1.4	2.9	2,366	1.7	3.3	5,923	1.0	3.0
12	34,087	3.1	2.7	10,999	0.7	2.5	3,566	2.4	2.7	2,431	2.7	3.2	5,993	1.2	2.8
17	35,185	3.2	2.5	10,903	0.9	2.4	3,627	1.7	2.5	2,532	4.2	3.0	5,885	1.8	2.7
22	35,787	1.7	2.4	10,978	0.7	2.3	3,723	2.6	2.3	2,502	1.2	2.9	5,782	1.8	2.6
27	35,620	0.5	2.4	10,423	5.1	2.2	3,569	4.1	2.2	2,439	2.5	2.7	5,708	1.3	2.4

1) 一般世帯の1人当たり人員 (一般世帯とは、施設等の世帯以外の世帯のことをいう。施設等の世帯とは、学校の寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所などの入院者、社会施設の入所者、自衛隊の営舎内、艦船内の居住者、矯正施設の入所者などから成る世帯のことをいう。)

4 世帯の家族類型

単独世帯の割合は31.0%で平成12年から増加し続けている

一般世帯を家族類型別にみると、「核家族世帯」が33,435世帯(構成比58.0%)で最も高くなっています。平成12年からの増減をみると、「核家族世帯」及び「3世代世帯」は減少し、「単独世帯」が増加しています。平成27年の「単独世帯」は17,870世帯(構成比31.0%)で、平成12年以降最も多くなっています。(図4-4-1、表4-4-1)

単独世帯の年齢構成をみると、男性と女性で構成比の特徴が異なります。男性の場合、一人暮らし世帯が最も多いのは20～29歳で1,814人(構成比22.4%)、次いで60～69歳の1,474人(同18.2%)でした。一方、女性の場合、一人暮らし世帯が最も多いのは80歳以上で3,051人(同32.5%)、次いで70～79歳の2,401人(同25.6%)でした。女性の場合、一人暮らしをしている世帯の58.1%が70歳以上です。(図4-4-2、表4-4-2)

図4-4-1 一般世帯の家族類型別割合の推移 - 尾道市(平成12年～27年)

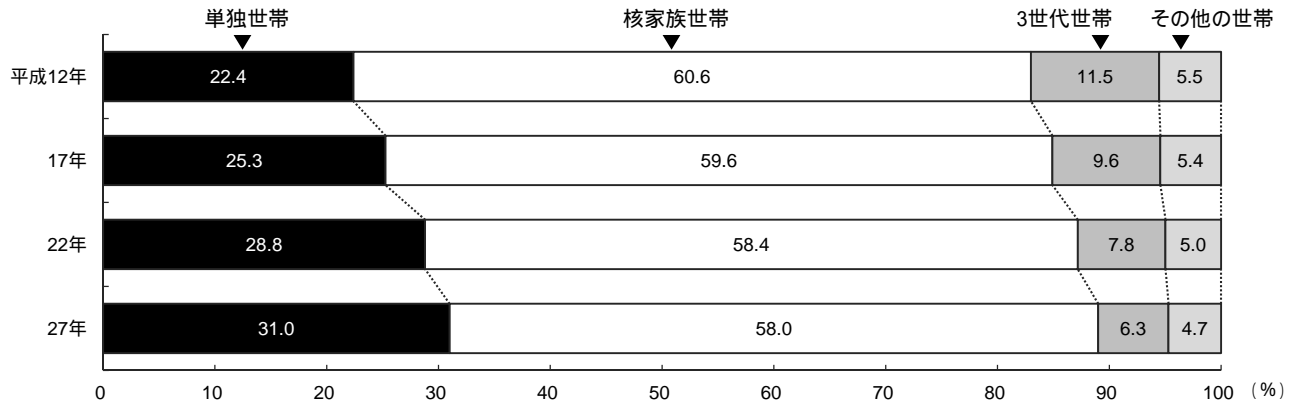


表 4-4-1 家族類型別世帯数 - 尾道市(平成12年～27年)

年次	一般世帯									
	世帯数(世帯)					構成比(%)				
	総数	核家族	単独	3世代	その他	総数	核家族	単独	3世代	その他
平成12年	57,006	34,545	12,765	6,535	3,161	100.0	60.6	22.4	11.5	5.5
17年	57,715	34,425	14,582	5,568	3,140	100.0	59.6	25.3	9.6	5.4
22年	58,687	34,262	16,902	4,601	2,922	100.0	58.4	28.8	7.8	5.0
27年	57,643	33,435	17,870	3,626	2,712	100.0	58.0	31.0	6.3	4.7

図 4-4-2 単独世帯の年齢(10歳階級)、男女別世帯人員の割合の推移 - 尾道市(平成17年～27年)

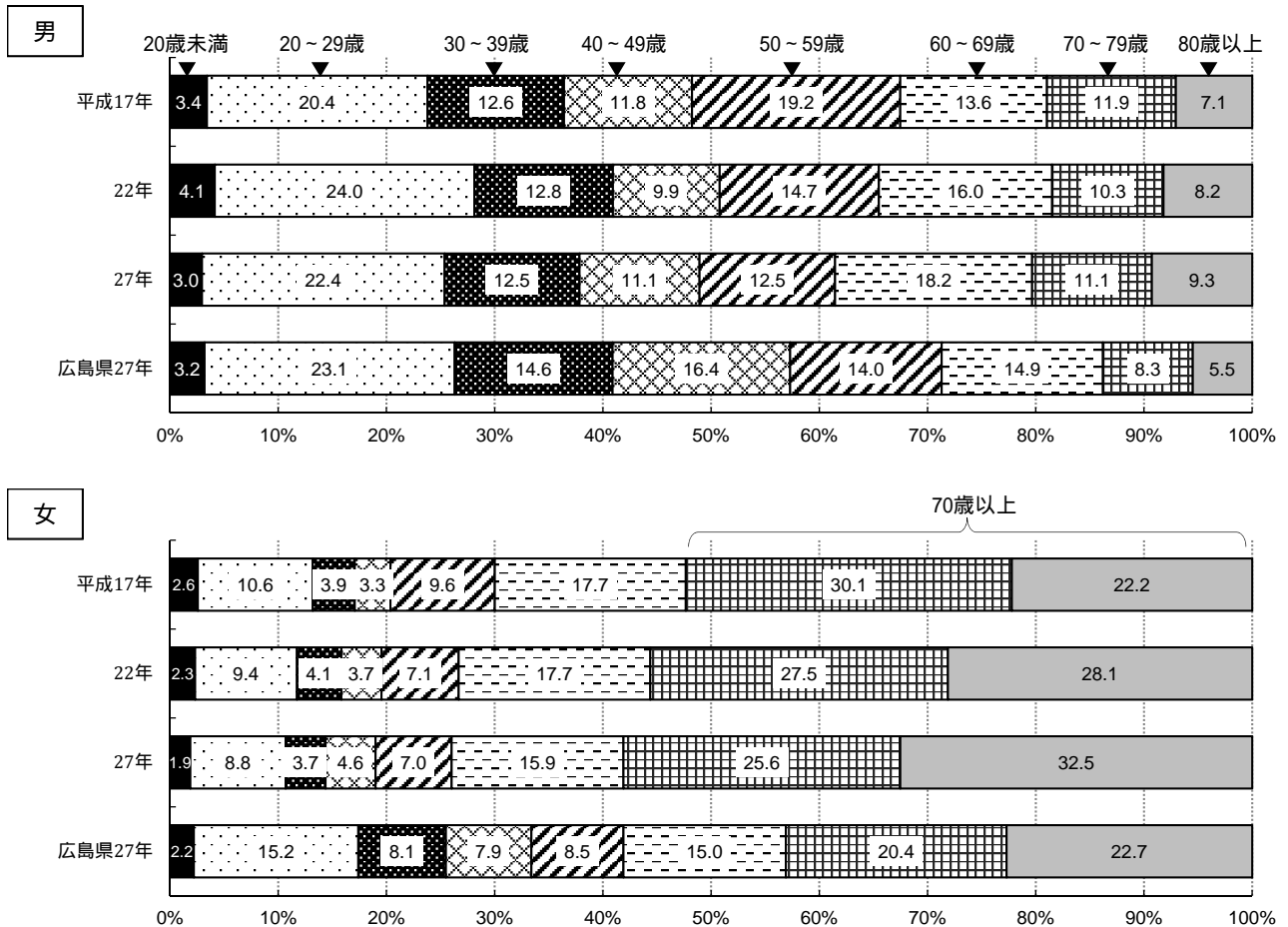


表 4-4-2 単独世帯の年齢(10歳階級)、男女別世帯人員の割合の推移 - 尾道市(平成17年～27年)

男女、年齢	実数(人)			割合(%)			(参考) 広島県27年
	平成17年	22年	27年	平成17年	22年	27年	
男 総数 1)	5,974	7,752	8,357	100.0	100.0	100.0	100.0
20歳未満	204	313	239	3.4	4.1	3.0	3.2
20～29歳	1,218	1,811	1,814	20.4	24.0	22.4	23.1
30～39歳	753	967	1,009	12.6	12.8	12.5	14.6
40～49歳	707	745	898	11.8	9.9	11.1	16.4
50～59歳	1,149	1,111	1,013	19.2	14.7	12.5	14.0
60～69歳	810	1,209	1,474	13.6	16.0	18.2	14.9
70～79歳	711	778	895	11.9	10.3	11.1	8.3
80歳以上	422	619	750	7.1	8.2	9.3	5.5
女 総数 1)	8,608	9,150	9,513	100.0	100.0	100.0	100.0
20歳未満	222	209	177	2.6	2.3	1.9	2.2
20～29歳	914	848	826	10.6	9.4	8.8	15.2
30～39歳	334	370	346	3.9	4.1	3.7	8.1
40～49歳	283	335	433	3.3	3.7	4.6	7.9
50～59歳	830	643	660	9.6	7.1	7.0	8.5
60～69歳	1,520	1,596	1,489	17.7	17.7	15.9	15.0
70～79歳	2,593	2,478	2,401	30.1	27.5	25.6	20.4
80歳以上	1,912	2,535	3,051	22.2	28.1	32.5	22.7

1)平成22年及び27年は、「年齢不詳」を含む。

5 65歳以上世帯員のいる世帯の状況

65歳以上世帯員のいる一般世帯数は30,404世帯で、一般世帯の半数以上
「一人暮らし65歳以上人口」は8,812人

65歳以上世帯員のいる一般世帯数は30,404世帯となっており、一般世帯に占める割合は52.7%となっています。(表4-5-1)

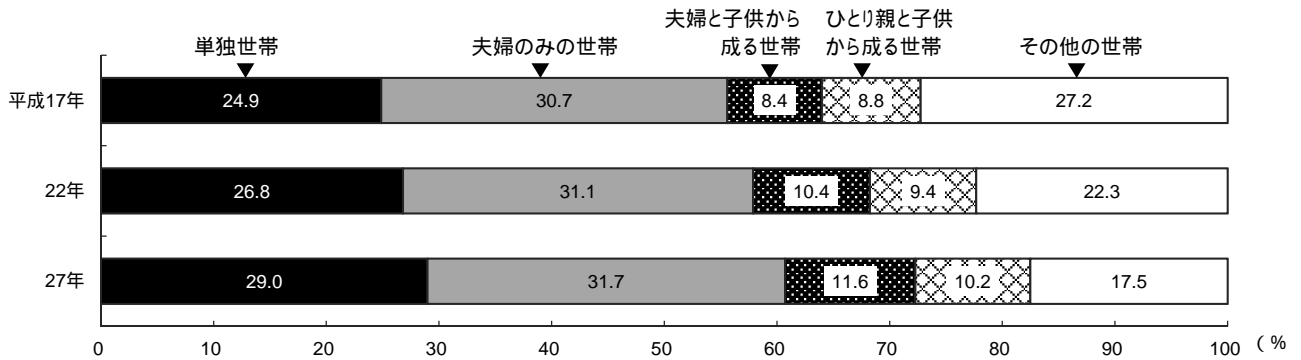
世帯の家族類型別にみると、「夫婦のみの世帯」は9,648世帯(65歳以上世帯員のいる一般世帯の31.7%)、「単独世帯」は8,812世帯(同29.0%)となっています。「夫婦のみの世帯」と「単独世帯」が65歳以上世帯員のいる一般世帯に占める割合は60.7%となっています。(図4-5-1)

表 4-5-1 世帯の家族類型別 65歳以上世帯員のいる一般世帯数の推移 - 尾道市(平成17年～27年)

家族類型	一般世帯						
	実数(世帯)			割合(%)			(参考) 広島県27年
	平成17年	22年	27年	平成17年	22年	27年	
65歳以上世帯員のいる一般世帯 1)	27,604	29,045	30,404	100.0 (47.8)	100.0 (49.5)	100.0 (52.7)	100.0 (41.1)
単独世帯	6,868	7,786	8,812	24.9	26.8	29.0	29.0
核家族世帯	13,215	14,779	16,266	47.9	50.9	53.5	55.4
夫婦のみの世帯	8,477	9,025	9,648	30.7	31.1	31.7	33.0
夫婦と子供から成る世帯	2,318	3,011	3,516	8.4	10.4	11.6	12.6
ひとり親と子供から成る世帯	2,420	2,743	3,102	8.8	9.4	10.2	9.9
その他の世帯	7,521	6,480	5,326	27.2	22.3	17.5	15.6
(再掲)3世代世帯	4,799	4,025	3,206	17.4	13.9	10.5	9.5

1) ()内の数値は、一般世帯に占める65歳以上世帯員のいる一般世帯の割合

図4-5-1 65歳以上世帯員のいる一般世帯の家族類型別世帯割合の推移 - 尾道市(平成17~27年)



「65歳以上世帯員のみ的一般世帯」は17,719世帯、一般世帯に占める割合は30.7%
65歳以上人口の18.7%が一人暮らし(5.3人に1人が一人暮らし)

65歳以上の世帯員のみで構成される世帯は尾道市全体で17,719世帯(一般世帯に占める割合は30.7%)で、平成17年と比べ6.3ポイント上昇しています。65歳以上の夫婦のみ的一般世帯は8,162世帯(同14.2%)で、平成17年とくらべ2.6ポイント上昇、65歳以上単独世帯は8,812世帯(同15.3%)で、平成17年とくらべ3.4ポイント上昇しています。(表4-5-2)

65歳以上人口に占める一人暮らし65歳以上人口の割合は、市平均で18.7%であり、65歳以上人口の5.3人に1人が一人暮らしをしていることとなります。(表4-5-2)

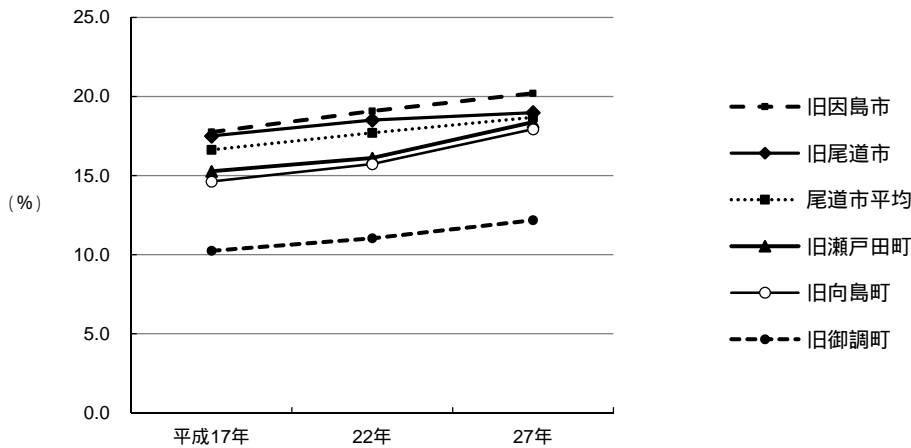
旧市町ごとの65歳以上人口に占める一人暮らし65歳以上人口の割合をみると、旧因島市が20.2%で最も高く、次いで旧尾道市(19.0%)、旧瀬戸田町(18.4%)、旧向島町(17.9%)、旧御調町(12.2%)となっています。旧御調町の65歳以上人口割合は37.3%と決して低くありませんが、一人暮らしをしている割合は他の旧市町と比べて低くなっています。(表4-5-2)

平成17年から27年における65歳以上人口に占める一人暮らし65歳以上人口の割合の推移をみると、全ての旧市町で上昇しています。平成22年から平成27年の5年間を見ると、他の旧市町にくらべて旧瀬戸田町と旧向島町の上昇幅が大きくなっています。(図4-5-2)

表4-5-2 65歳以上世帯員のみ的一般世帯 - 旧市町(平成17年~27年)

旧市町・年次	65歳以上人口(人)	一般世帯数(世帯)	65歳以上世帯員のみ的一般世帯						65歳以上人口に占める単独世帯の割合(%)	(参考) 65歳以上人口割合(%)	
			実数(世帯)			一般世帯に占める割合(%)					
			総数	うち夫婦のみの世帯	うち単独世帯	総数	夫婦のみの世帯	単独世帯			
市計	平成17年	41,294	57,715	14,078	6,714	6,868	24.4	11.6	11.9	16.6	27.6
	22年	43,964	58,687	15,766	7,389	7,786	26.9	12.6	13.3	17.7	30.4
	27年	47,146	57,643	17,719	8,162	8,812	30.7	14.2	15.3	18.7	34.2
旧尾道市	平成17年	22,824	34,858	7,970	3,716	3,995	22.9	10.7	11.5	17.5	25.1
	22年	24,421	35,741	8,920	4,089	4,521	25.0	11.4	12.6	18.5	27.6
	27年	26,528	35,560	9,972	4,565	5,034	28.0	12.8	14.2	19.0	31.0
旧因島市	平成17年	8,374	10,863	3,067	1,478	1,487	28.2	13.6	13.7	17.8	31.4
	22年	8,835	10,963	3,407	1,586	1,686	31.1	14.5	15.4	19.1	34.7
	27年	9,421	10,400	3,778	1,719	1,904	36.3	16.5	18.3	20.2	40.4
旧瀬戸田町	平成17年	3,006	3,623	984	483	459	27.2	13.3	12.7	15.3	33.2
	22年	3,253	3,718	1,151	572	524	31.0	15.4	14.1	16.1	37.2
	27年	3,449	3,559	1,325	617	634	37.2	17.3	17.8	18.4	43.0
旧御調町	平成17年	2,509	2,504	583	292	257	23.3	11.7	10.3	10.2	32.0
	22年	2,509	2,489	627	317	277	25.2	12.7	11.1	11.0	33.2
	27年	2,602	2,423	733	360	317	30.3	14.9	13.1	12.2	37.3
旧向島町	平成17年	4,581	5,867	1,474	745	670	25.1	12.7	11.4	14.6	29.0
	22年	4,946	5,776	1,661	825	778	28.8	14.3	13.5	15.7	33.2
	27年	5,146	5,701	1,911	901	923	33.5	15.8	16.2	17.9	36.7

図4-5-2 65歳以上人口に占める「65歳以上単独世帯」の割合 - 旧市町(平成17年~27年)



65歳以上の夫婦のみからなる一般世帯は8,162世帯

夫・妻ともに65歳以上の夫婦のみからなる一般世帯は8,162世帯で、「65歳以上世帯員のみ的一般世帯」に占める割合は46.1%となっています。(表4-5-3)

表4-5-3 「65歳以上の夫婦のみからなる一般世帯」の夫・妻の年齢別世帯数 - 尾道市(平成27年)

世帯数	総数	妻が65~69歳	妻が70~74歳	妻が75~79歳	妻が80~84歳	妻が85歳以上
総数	8,162	2,779	2,449	1,647	1,030	403
夫が65~69歳	2,578	1,278	91	19	2	-
夫が70~74歳	2,492	1,211	1,057	80	11	4
夫が75~79歳	2,016	151	1,097	677	68	6
夫が80~84歳	1,553	18	176	786	521	47
夫が85歳以上	863	1	10	77	428	346
(再掲)夫ともに65歳以上	8,162	(46.1)	1)			
(再掲)夫ともに75歳以上	2,956	(16.7)	1)			
(再掲)夫ともに85歳以上	346	(2.0)	1)			

1) ()内の数値は、「65歳以上世帯員のみからなる一般世帯」に占める割合(%)

6 ひとり親世帯の状況

18歳未満親族のいる「ひとり親世帯」は854世帯で、18歳未満親族のいる一般世帯の7.7%

18歳未満親族のいる一般世帯数は11,048世帯(一般世帯に占める割合は19.2%)で、平成17年と比べて3.3ポイント減少しました。(表4-6)

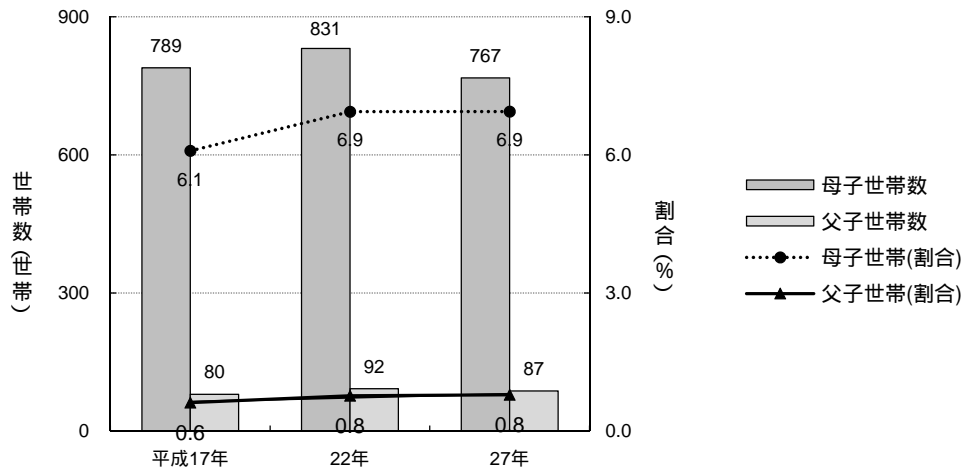
18歳未満親族のいる一般世帯のうち、「ひとり親世帯」の割合は7.7%で、平成17年より高くなっていますが、平成22年と比べると同程度となっています。(表4-6、図4-6)

表4-6 18歳未満親族のいる母子世帯及び父子世帯の推移 - 尾道市(平成17年~27年)

家族類型	世帯数			割合(%)		
	平成17年	22年	27年	平成17年	22年	27年
18歳未満親族のいる一般世帯数	12,959	11,975	11,048	100.0	100.0	100.0
うち、ひとり親世帯	869	923	854	6.7	7.7	7.7
母子世帯	789	831	767	6.1	6.9	6.9
父子世帯	80	92	87	0.6	0.8	0.8

1) ()内の数値は、一般世帯に占める18歳未満親族のいる一般世帯の割合

図4-6 18歳未満親族のいる母子世帯及び父子世帯の推移 - 尾道市〔平成17年～27年〕



第5 尾道市の住居の状況

1 住宅の建て方

「一戸建」の割合は77.4%で県平均(57.1%)と比べ高くなっている。

住宅に住む一般世帯数(注)(55,929世帯)を住宅の建て方別にみると、「一戸建」が43,276世帯(住宅に住む一般世帯の77.4%)と最も多く、次いで「共同住宅」が10,414世帯(同18.6%)、「長屋建」が2,103世帯(同3.8%)となっています。(図5-1-1、表5-1-1)

平成17年と比べると、「一戸建」は1,208世帯減少(住宅に住む一般世帯に占める割合は1.1ポイント低下)、「共同住宅」は1,702世帯増加(同3.2ポイント上昇)しています。(表5-1-1)

県平均と比べると、「一戸建」の割合が高く、「共同住宅」の割合が低くなっています。(表5-1-1)

住宅に住む一般世帯数を旧市町ごとにみると、「一戸建」の割合が最も高いのは旧瀬戸田町で88.0%(2,925世帯)、次いで旧御調町87.4%(2,061世帯)、旧向島町87.2%(4,867世帯)となっています。「共同住宅」の割合が高いのは、旧尾道市で23.9%(8,341世帯)となっています。(図5-1-2、表5-1-2)

図5-1-1 住宅の建て方別住宅に住む一般世帯数 - 尾道市〔平成17年～27年〕

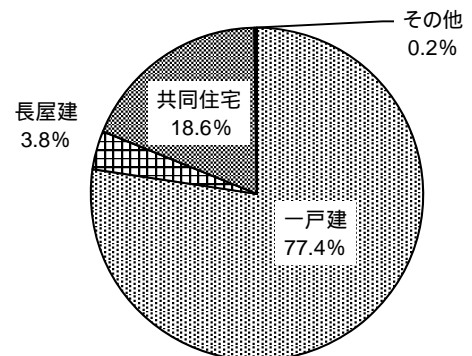


表5-1-1 住宅の建て方別住宅に住む一般世帯の推移 - 尾道市〔平成17年～27年〕

年次	住宅に住む一般世帯									
	実数(世帯)					割合(%)				
	総数	一戸建	長屋建	共同住宅	その他	総数	一戸建	長屋建	共同住宅	その他
平成17年	56,686	44,484	3,396	8,712	94	100.0	78.5	6.0	15.4	0.2
22年	57,363	44,192	2,706	10,338	126	100.0	77.0	4.7	18.0	0.2
27年	55,929	43,276	2,103	10,414	136	100.0	77.4	3.8	18.6	0.2
(参考) 広島県27年	1,183,646	676,316	27,865	477,142	2,323	100.0	57.1	2.4	40.3	0.2

(注) 住宅に住む一般世帯数は、一般世帯のうち住宅以外(寄宿舍・寮や病院・学校・旅館・会社・工場・事務所など)に居住している世帯を除いたものである。

図5-1-2 住宅の建て方別住宅に住む一般世帯の割合 - 旧市町(平成27年)

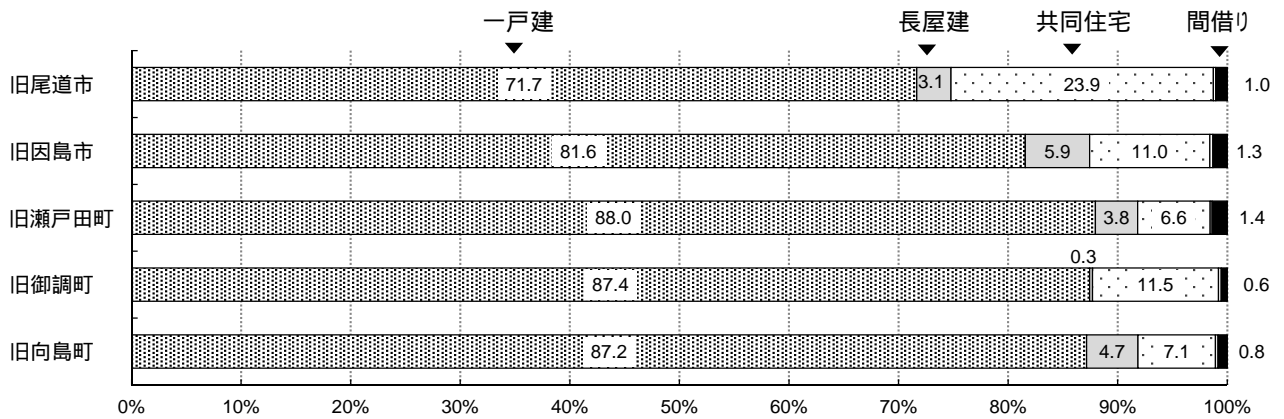


表 5-1-2 住宅の建て方別住宅に住む一般世帯数 - 旧市町(平成 27 年)

旧市町	住宅に住む一般世帯											
	実数(世帯)						割合(%)					
	総数	主世帯				間借り ¹⁾	総数	主世帯				間借り
		一戸建	長屋建	共同住宅	その他			一戸建	長屋建	共同住宅	その他	
旧尾道市	34,844	24,970	1,090	8,341	79	364	100.0	71.7	3.1	23.9	0.2	1.0
旧因島市	9,819	8,009	577	1,076	28	129	100.0	81.6	5.9	11.0	0.3	1.3
旧瀬戸田町	3,325	2,925	128	220	6	46	100.0	88.0	3.8	6.6	0.2	1.4
旧御調町	2,357	2,061	6	271	6	13	100.0	87.4	0.3	11.5	0.3	0.6
旧向島町	5,584	4,867	262	395	13	47	100.0	87.2	4.7	7.1	0.2	0.8

1) 間借り世帯については、住宅の建て方の分類なし。

2 住宅所有の関係

「持ち家」の割合は 74.5% に上昇。県平均(61.9%) と比べ高い割合となっている。

住宅に住む一般世帯数(55,929 世帯)を住宅の所有の関係別にみると、「持ち家」が 41,653 世帯(住宅に住む一般世帯の 74.5%)と最も多く、次いで「民営の借家」が 10,495 世帯(同 18.8%)となっています。

住宅に住む一般世帯に占める「持ち家」の割合を平成 22 年と比べると 1.4 ポイント上昇しています。また、県平均と比べると 12.6 ポイント高くなっています。

住宅の所有の関係別一般世帯数を旧市町ごとにみると、「持ち家」の割合が最も高いのは旧御調町で 85.9%、次いで旧瀬戸田町の 83.0%となっています。「民営の借家」の割合が最も高いのは旧尾道市で 21.7%、次いで旧向島町の 16.9%となっています。

図5-2-1 住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯数の割合 - 尾道市(平成27年)

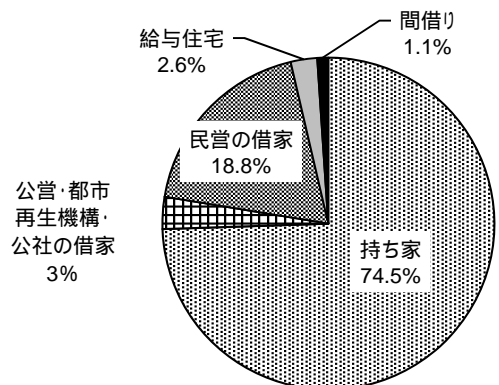


表 5-2-1 住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯数の推移 - 尾道市(平成 17 年～27 年)

年次	住宅に住む一般世帯													
	実数(世帯)						割合(%)							
	総数	主帯					間借り	総数	主世帯					間借り
		持ち家	公営・都市再生機構・公社の借家	民営の借家	給与住宅	間借り			持ち家	公営・都市再生機構・公社の借家	民営の借家	給与住宅	間借り	
平成 17 年	56,686	41,968	2,232	10,552	1,333	601	100.0	74.0	3.9	18.6	2.4	1.1		
22 年	57,363	41,940	2,001	11,103	1,585	734	100.0	73.1	3.5	19.4	2.8	1.3		
27 年	55,929	41,653	1,743	10,495	1,439	599	100.0	74.5	3.1	18.8	2.6	1.1		
(参考) 広島県 27 年	1,183,646	732,697	39,668	2,862	37,262	11,153	100.0	61.9	3.6	30.4	3.1	0.9		

表 5-2-2 住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯 - 旧市町(平成 27 年)

地区	住宅に住む一般世帯													
	実数(世帯)						割合(%)							
	総数	主世帯					間借り	総数	主世帯					間借り
		持ち家	公営・都市再生機構・公社の借家	民営の借家	給与住宅	間借り			持ち家	公営・都市再生機構・公社の借家	民営の借家	給与住宅	間借り	
尾道市	55,929	41,653	1,743	10,495	1,439	599	100.0	74.5	3.1	18.8	2.6	1.1		
旧尾道市	34,844	24,792	1,127	7,567	994	364	100.0	71.2	3.2	21.7	2.9	1.0		
旧因島市	9,819	7,623	355	1,489	223	129	100.0	77.6	3.6	15.2	2.3	1.3		
旧瀬戸田町	3,325	2,759	70	392	58	46	100.0	83.0	2.1	11.8	1.7	1.4		
旧御調町	2,357	2,024	161	103	56	13	100.0	85.9	6.8	4.4	2.4	0.6		
旧向島町	5,584	4,455	30	944	108	47	100.0	79.8	0.5	16.9	1.9	0.8		

図5-2-2 住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯の割合 - 旧市町(平成27年)

